

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証

3か年の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。

ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む**1****緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り**

- 市内に残るまとまりのある緑地を保全して次世代に引き継ぐため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。
- 特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。
- 市民の森において、市民が親しめるような散策路などの整備を行います。また、市が取得した樹林地での柵の設置などの初期整備を行います。

**3か年の事業実績** ※数値は、端数処理を行っています。**<事業の進捗状況>**

		緑地保全制度による新規指定	不測の事態による 買取希望等への対応
平成26年度実績	101.7ha	18.2ha	
	102.5ha	24.1ha	
	62.4ha	24.7ha	
	266.6ha	67.0ha	
5か年目標・想定 [b]	目標 500ha	想定 108ha	
3か年計画値 [c]	300ha	64.8ha	

目標・計画値に対する進捗率

		緑地保全制度による新規指定	不測の事態による 買取希望等への対応	
5か年目標・想定に対する 進捗率 [a/b×100]	53%	○	62%	◎
3か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]	89%		103%	

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	5,878 百万円	677 百万円
平成 27 年度決算額	6,390 百万円	1,151 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	6,250 百万円	913 百万円
3か年累積見込額 [d]	18,518 百万円	2,741 百万円
5か年計画額 [e]	32,494 百万円	3,556 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	57% ○	77% ◎



3か年の評価・検証

- 土地所有者への働きかけを積極的に実施することで指定実績は、3か年目標の9割に近い266.6haとなりました。
- 近年では、比較的小規模な樹林地で指定の働きかけを進めている案件が多くなっており、大面積での指定案件は少なくなっています。この傾向は、今後も続いていると考えられます。
- 指定地での買入の希望に対して、横浜みどり税を活用して確実に対応してきたことで、67.0ha（約22ha/年）の樹林地を市有地として保全していくことができました。
- みどりアップ計画の取組が、樹林地所有者の間で広く知られるようになり、以前は指定に至らなかった案件の中でも、再度の働きかけの際に指定できた案件も増えてきました。目標達成のためには、このような事業の周知やPR、再度の働きかけも重要と考えています。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 緑地保全制度による新規指定

制度	新規指定等		
	面積	区名	地区詳細
特別緑地保全地区	121.6ha	鶴見	馬場五丁目地区 (0.4ha)、東寺尾六丁目地区 (0.9ha)、東寺尾六丁目南地区 (0.3ha)
		神奈川	片倉三丁目地区 (1.0ha)、三枚町牛道根地区 (0.2ha<指定拡大>)、三枚町矢崎地区 (0.2ha)、菅田町出戸谷地区 (0.2ha<指定拡大>)、菅田町堀上地区 (0.3ha<指定拡大>)、菅田町南出戸地区 (3.0ha)、羽沢町綿打地区 (0.4ha)、羽沢南三丁目地区 (0.4ha)
		港南	野庭町地区 (3.7ha)、野庭・上永谷地区 (1.1ha)
		保土ヶ谷	今井町多子谷地区 (2.1ha)、今井町美立橋地区 (5.0ha)、上菅田町金草沢東地区 (1.0ha)、境木本町地区 (0.8ha)、仏向町地区 (1.9ha)
		旭	市沢町日向地区 (0.6ha)、上川井町堂谷地区 (3.5ha)、上白根町小池地区 (2.7ha)、川島町二ノ沢地区 (0.8ha)、市沢町地区 (2.4ha<指定拡大>)、上川井町露木谷地区 (10.3ha)、川井本町地区 (2.3ha)、都岡町地区 (1.6ha)、上白根町後谷地区 (2.5ha)、三保地区 (0.2ha<指定拡大>)
		磯子	氷取沢町地区 (2.2ha)
		金沢	朝比奈地区 (3.9ha<指定拡大>)、六浦東三丁目地区 (0.6ha)、関ヶ谷地区 (2.8ha)、大道二丁目地区 (2.3ha)、富岡東五丁目地区 (0.9ha)
		港北	小机城址地区 (0.1ha<指定拡大>)、大曾根台地区 (0.7ha<指定拡大>)
		緑	北八朔町北地区 (1.2ha)、北八朔町中地区 (1.0ha)、北八朔町南地区 (2.5ha)、十日市場町笹山地区 (0.7ha)、長津田町深田地区 (1.5ha)、三保地区 (5.7ha<指定拡大>)、三保町東谷地区 (2.9ha)、三保町杉沢地区 (0.2ha)、三保町杉沢堰地区 (0.6ha)、寺山町本谷地区 (0.4ha)、長津田町馬ノ背地区 (0.8ha)
		青葉	恩田町地区 (4.4ha)、恩田町九郎治谷地区 (0.7ha)、恩田町番匠谷地区 (1.4ha)、恩田東部地区 (8.4ha<指定拡大>)、鉄町富士塚台地区 (0.8ha)、鉄町稻荷谷戸地区 (1.1ha)、奈良町宮ノ谷地区 (5.4ha)、元石川町平崎地区 (1.0ha)、元石川町平崎北地区 (1.2ha)、奈良町神戸地区 (0.4ha)、奈良町西ノ谷地区 (1.4ha)
		都筑	大棚町地区 (0.5ha)、池辺町滝ヶ谷戸地区 (0.3ha<指定拡大>)
		戸塚	下倉田町地区 (1.4ha)
		栄	上郷・中野地区 (2.4ha<指定拡大>)、上郷町瀬上地区 (1.5ha)
		泉	和泉町関島地区 (1.5ha)、和泉町天王森地区 (0.6ha)、和泉町早稻田地区 (1.8ha)、岡津町金堀谷地区 (0.5ha)、新橋町地区 (2.2ha)
		瀬谷	阿久和南一丁目地区 (1.3ha)、本郷三丁目地区 (0.3ha)、宮沢三丁目地区 (0.3ha)

(次頁に続く)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

市民の森等	34.0ha	鶴見	獅子ヶ谷地区 (0.03ha<指定拡大>)
		旭	今宿地区 (0.1ha<指定拡大>)、追分地区 (0.2ha<指定拡大>)、南本宿地区 (0.1ha<指定拡大>)、(仮称) 上川井地区 (10.1ha)
		磯子	峯地区 (3.1ha<指定拡大>)、氷取沢地区 (0.8ha<指定拡大>)
		金沢	朝比奈北地区 (0.7ha<指定拡大>)、氷取沢地区 (9.7ha<指定拡大>)、釜利谷地区 (1.6ha<指定拡大>)、富岡東三丁目地区 (1.5ha<指定拡大>)
		緑	新治地区 (0.5ha<指定拡大>)、三保地区 (0.1ha<指定拡大>)
		青葉	(仮称) 恩田地区 (0.3ha<指定拡大>)
		都筑	池辺地区 (0.9ha<指定拡大>)
		戸塚	(仮称) 名瀬・上矢部地区 (3.9ha<指定拡大>)、舞岡ふるさとの森 (0.03ha<指定拡大>)
		栄	上郷地区 (0.1ha<指定拡大>)、瀬上地区 (0.2ha<指定拡大>)
		泉	新橋地区 (0.03ha<指定拡大>)
		瀬谷	瀬谷地区 (0.1ha<指定拡大>)
緑地保存地区	26.7ha		84 地区
源流の森保存地区	76.9ha		129 地区
寄附緑地等	7.4ha		
【合計】	266.6ha		



【写真】恩田東部特別緑地保全地区
(青葉区)



【写真】氷取沢町特別緑地保全地区
(磯子区)

■ 買入れ申し出への対応

制度	区名	地区名
特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区 (予定地含む)	鶴見	駒岡・梶山地区、獅子ヶ谷・師岡地区、東寺尾六丁目地区、東寺尾六丁目南地区
	神奈川	三枚町地区、菅田町出戸谷地区、菅田町南出戸地区
	南	中里三丁目地区
	港南	芹が谷五丁目地区、野庭町地区
	保土ヶ谷	今井町多子谷地区、今井町美立橋地区、上菅田町金草沢東地区、川島地区
	旭	市沢町地区、猪子山地区、上川井町大貫谷地区、上川井町堂谷地区、上川井町堀谷地区、上白根町小池地区、川井本町地区、川島町二ノ沢地区、善部町地区、都岡町地区、鶴ヶ峰二丁目地区、南本宿地区、三保地区
	磯子	円海山地区、峰地区
	金沢	朝比奈地区、大丸山地区、釜利谷地区、大道二丁目地区
	港北	大曾根台地区、小机城址地区、綱島地区、日吉地区
	緑	鴨居四丁目地区、北八朔町中地区、北八朔町南地区、寺山町本谷地区、十日市場町笹山地区、長津田町深田地区、西八朔町藤林地区、三保地区（再掲）、三保町杉沢地区、三保町東谷地区
	青葉	恩田東部地区、恩田町番匠谷地区、鉄町富士塚台地区、寺家地区、奈良町神戸地区、元石川町平崎地区
	都筑	池辺町滝ヶ谷戸地区、池辺町八所谷戸地区
	戸塚	下倉田町地区、汲沢四丁目地区
	栄	飯島町地区、円海山地区、大丸山地区、鍛冶ヶ谷地区、上郷・中野地区、公田・荒井沢地区
	泉	和泉町早稻田地区、岡津町金堀谷地区、鍋屋地区、古橋地区
	瀬谷	本郷三丁目地区

(次頁に続く)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

市民の森等	鶴見	獅子ヶ谷地区、東寺尾地区
	旭	追分地区、南本宿地区
	磯子	峯地区
	金沢	富岡東三丁目地区
	港北	篠原城址地区、綱島地区
	緑	新治地区
	戸塚	深谷地区、舞岡地区
	栄	瀬上地区
	泉	新橋地区、中田地区
	瀬谷	瀬谷地区、東山地区
【合計】		84 地区 67.0ha



【写真】長津田町深田特別緑地保全地区
(緑区)



【写真】市沢町特別緑地保全地区
(旭区)

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

- 森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進します。
- 愛護会などと連携し、森ごとの具体的な管理の計画を定める「保全管理計画」を策定し、森づくりを推進します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		ガイドライン等を活用した 維持管理		保全管理計画の策定	
		(樹林地)	(公園)	(樹林地)	(公園)
平成26年度実績	109か所	11か所	3か所	5か所	
	121か所	14か所	3か所	3か所	
	131か所	18か所	2か所	4か所	
	361か所	43か所	8か所	12か所	
5か年目標 [b]	推進	推進	15か所	10か所	
3か年計画値 [c]	推進	推進	9か所	6か所	

目標・計画値に対する進捗率

		ガイドライン等を活用した 維持管理		保全管理計画の策定			
		(樹林地)	(公園)	(樹林地)	(公園)	(樹林地)	(公園)
5か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]	—	—	—	53%	○	120%	◎
3か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]	—	—	—	88%	—	200%	—

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	392 百万円	251 百万円
平成 27 年度決算額	431 百万円	281 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	476 百万円	337 百万円
3か年累積見込額 [d]	1,299 百万円	869 百万円
5か年計画額 [e]	2,100 百万円	1,323 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	62% ◎	66% ◎



3か年の評価・検証

- 市民の森、まとまった樹林のある公園等で保全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、愛護会等と共に認識を持ちながら、維持管理を進めることができました。
- 樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全に資するため、市民協働による保全管理計画の策定等を推進するとともに、作業の結果を調査・検証し、維持管理作業を見直しながら継続的に行っていくことが必要です。
- 市が取得した樹林地の総量は年々増加しており、これに対応した新たな管理手法の検討が必要です。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

市民の森、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、維持管理の技術指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保全管理計画」に基づき、間伐や下草刈り等の維持管理を実施しました。



【写真】維持管理を実施した樹林地

(左：緑区/北八朔公園 右：旭区/今宿市民の森)

■ 保全管理計画の策定

森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。

策定か所	区名
市民の森等	東寺尾ふれあいの樹林
	境木ふれあいの樹林
	関ヶ谷市民の森
	綱島市民の森
	もえぎ野ふれあいの樹林
	上郷市民の森
	飯島市民の森
	名瀬北特別緑地保全地区
まとまった樹林地 のある都市公園	久良岐公園
	港南台中央公園
	こども自然公園
	北八朔公園
	玄海田公園
	大塚・歳勝土遺跡公園
	鴨池公園
	茅ヶ崎公園
	都筑中央公園
	小菅ヶ谷北公園
	本郷ふじやま公園
	瀬谷貉窪公園



【写真】

保全管理計画の策定 検討会の様子
(戸塚区/名瀬北特別緑地保全地区)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

3 指定された樹林地における維持管理の支援

- 緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の管理作業を支援します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

維持管理の支援	
平成 26 年度実績	132 件
平成 27 年度実績	103 件
平成 28 年度実績	83 件
3か年累積 [a]	318 件
5か年目標 [b]	650 件
3か年計画値 [c]	390 件

目標・計画値に対する進捗率

維持管理の支援		
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	49%	○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	82%	

<事業費の執行状況>

事業費		うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	89 百万円	89 百万円
平成 27 年度決算額	76 百万円	76 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	65 百万円	65 百万円
3か年累積見込額 [d]	230 百万円	230 百万円
5か年計画額 [e]	600 百万円	600 百万円

計画額に対する進捗率

事業費		うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	38%	△



3か年の評価・検証

- 緑地保存地区等において土地所有者への維持管理助成により、危険樹木除去等の管理を進め、樹林地の保全に寄与しました。
- 継続して取り組むことで、土地所有者による樹林地管理の負担感を軽減し、樹林地の継続保有への意欲につながっていると考えられます。
- 新たに指定された樹林地では、継続的に維持管理作業を行っている樹林地に比べて多くの樹林地管理作業が必要であり、一層の支援が求められています。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 指定された樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部において、隣接する住宅や道路等に対して危険な樹木や電線等の支障になっている樹木のせん定・伐採、火災や不法投棄等の恐れがある草地の草刈等の維持管理費用を助成しました。

＜区別実績＞

区名	件数	区名	件数
鶴見	9	金沢	29
神奈川	10	港北	27
西	2	緑	24
中	7	青葉	20
南	5	都筑	21
港南	18	戸塚	41※
保土ヶ谷	23	栄	20※
旭	23	泉	16
磯子	11	瀬谷	13
		合計	318

※戸塚区・栄区をまたがる実績が一件あり、
合計が一致しません



助成利用者の声

- ・一度助成を受けた箇所でも樹木は伸び続けるので、継続的に助成を受けられてよかったです。
- ・道路の見とおしが良くなり明るく綺麗になって、近隣住民からも喜ばれました。

【写真】

作業前（上）と作業後（下）（戸塚区）

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

- 防災や安全面の対策が必要な緑地の法面を対象に、生物多様性にも配慮した法面整備を推進します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		生物多様性に配慮した 防災性・安全性の向上
平成 26 年度実績	施工中 1 か所	
	整備 3 か所	
	整備 5 か所	
	8 か所	
5 か年目標 [b]	10 か所	
3 か年計画値 [c]	6 か所	

目標・計画値に対する進捗率

		生物多様性に配慮した 防災性・安全性の向上
5 か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]	80%	◎
3 か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]	133%	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	68 百万円	68 百万円	
	114 百万円	68 百万円	
	128 百万円	128 百万円	
	310 百万円	264 百万円	
5 か年計画額 [e]	1,000 百万円	1,000 百万円	

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	31%	△	26% △



3か年の評価・検証

- 危険斜面の整備については、着実に進捗できました。
- 対象となる緑地の状況に合わせた工法およびその効果について、引き続き検証が必要です。

3か年の総合評価

A



3か年の実績詳細

■ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

危険な斜面地のある獅子ケ谷市民の森（鶴見区・2か所）、上山・白山特別緑地保全地区（緑区）、岡村一丁目緑地（磯子区）、宮田緑地（保土ヶ谷区）、舞岡ふるさとの森（戸塚区）、舞岡特別緑地保全地区（戸塚区）、荒井沢市民の森（栄区）において、生物多様性にも配慮した防災や安全性の対策工事を実施しました。



【写真】法面の整備
(戸塚区/舞岡ふるさとの森)



【写真】法面の整備
(戸塚区/舞岡特別緑地保全地区)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

5 間伐材の有効利用

- チッパーの貸出しなどにより、間伐材の有効活用を推進します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		チッパーの貸出し
平成26年度実績	20回	
	11回	
	8回	
	39回	
5か年目標 [b]	推進	
3か年計画値 [c]	推進	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	5百万円	4百万円	
	3百万円	2百万円	
	4百万円	3百万円	
	12百万円	9百万円	
5か年計画額 [e]	45百万円	40百万円	

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		27%	△	23% △



3か年の評価・検証

- 森の手入れで発生した間伐材のチップ化作業支援により、チップを園路に敷くなど、間伐材を現地で活用することで、樹林地の維持管理に貢献しました。
- 森の手入れで発生した間伐材を使用して、新たにクラフトキットや樹名板の作成などの取組も開始し、イベント等で好評を得ました。こうした取組は森づくり活動を幅広い市民にアピールできる取組と考えられます。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 間伐材チップ化作業支援

市民の森等で活動する森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材をチップ化して園路に敷くなど有効活用を図るため、チップ化作業の支援を行いました。

実施場所	区	回数
川井特別緑地保全地区	旭	8
関ヶ谷市民の森	金沢	2
緑地保存地区（能見台東）	金沢	4
新治市民の森	緑	4
鴨居原市民の森	緑	2
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	6
茅ヶ崎公園	都筑	6
鯉ヶ久保ふれあいの樹林	泉	1
古橋特別緑地保全地区	泉	2
源流の森（和泉町）	泉	4
【計】		39



間伐材チップ化作業支援を利用した 森づくり活動団体の声

- ・自分たちで作業をすると危険で大変なので、
民間事業者に作業をしてもらえて助かりました。

【写真上】チップ化作業支援の様子/

【写真下】集積したチップ

(金沢区 関ヶ谷市民の森)

■ 間伐材利活用方法の検討

市内で発生する間伐材を有効活用しながら、森への関心をより多くの方にもってもらうため、森の手入れで発生した間伐材を活用しクラフトキットや樹名板を作成しました。



【写真】市内産木材を使用した
樹名板とクラフト

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

6 森づくりを担う人材の育成

- 森づくり活動に取り組む団体のスキルアップにつながる研修を実施します。
- 森づくりボランティア登録者を対象とした研修を開催するとともに、ボランティアが森づくり活動団体へ加入するための橋渡しを行います。
また、森づくりに関する情報発信を行います。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		森づくり活動団体向けの研修の実施	森づくりボランティアへの情報発信(ニュースレター発行)
平成26年度実績	16回	4回	
	14回	4回	
	11回	4回	
	41回	12回	
5か年目標 [b]	推進	推進	
3か年計画値 [c]	推進	推進	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	9百万円	9百万円	
	6百万円	6百万円	
	6百万円	6百万円	
	21百万円	21百万円	
5か年計画額 [e]	41百万円	41百万円	

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	51%	○	51%



3か年の評価・検証

- 森での管理に必要な知識や作業に関する研修を開催し、森づくりボランティアなどの育成を推進しました。
- 安全に配慮した作業に関する研修を実施し、森づくり活動団体の安全に関する意識の向上を図りました。
- 森づくり活動の場が年々増加することに加え、既存の団体でも高齢化などにより担い手が不足しているため、引き続き新たな人材の育成を進めるとともに、森づくり活動団体との橋渡しを継続的に行っていく必要があります。

3か年の総合評価

B

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む



3か年の実績詳細

■ 森づくりを担う人材を育成するための研修

研修名	回数	対象者	
		団体	登録者
「森づくりリーダー養成講座」	4回	○	
「これも覚えよう！30種」（スキルアップ講座）	16回	○	○
「調査・モニタリング研修」（スキルアップ講座）	1回	○	
「作業実習」（スキルアップ講座）	3回	○	
「救急救命講習会」（スキルアップ講座）	2回	○	
「森づくりボランティア基本研修」（必須研修）	2回	○	
「森づくり活動団体基本研修」（必須研修）	4回	○	
「森づくりボランティア入門講座」	9回		○
【計】	41回		



研修参加者の声

- ・樹皮だけで樹木を同定できない場合でも、冬芽を参考にすることで樹木判定に活かせそう。（これも覚えよう！30種）
- ・横浜の森を守るためにいかにボランティアの力が大切かわかった。次世代に森を残すために自分も何かしたい。（入門講座）
- ・ハサミ・ノコギリの使い方、手入れの仕方は大変役に立った。非常に充実した研修会であった。（作業研修）



【写真】

「森づくり活動団体基本研修」の様子
(緑区/新治市民の森)

■ 森づくりボランティアの橋渡し

森づくり活動団体に受け入れていただき、森づくりボランティア登録者による杉林の間伐作業を、団体会員の指導を受けながら実施しました。

■ 森づくりに関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた森づくりに関する情報発信として、『よこはまの森ニュースレター』を年間で4回発行しました。

＜支援対象＞(平成28年度末時点)

森づくり活動団体	73団体
森づくりボランティア	130人

7 森づくり活動団体への支援

- 市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		森づくり活動団体への支援	
		(樹林地)	(公園)
平成26年度実績	延べ22団体	延べ9団体	
	延べ23団体	延べ9団体	
	延べ34団体	延べ10団体	
	延べ79団体	延べ28団体	
5か年目標 [b]	延べ50団体	延べ50団体	
3か年計画値 [c]	延べ30団体	延べ30団体	

目標・計画値に対する進捗率

		森づくり活動団体への支援			
		(樹林地)		(公園)	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	158%	◎	56%	○	
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	263%		93%		

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	3百万円	3百万円	
	6百万円	6百万円	
	7百万円	7百万円	
	16百万円	16百万円	
5か年計画額 [e]	28百万円	28百万円	

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率(見込) [d/e×100]	57%	○	57% ○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む



3か年の評価・検証

- 森づくり活動を行っている団体に対する道具の貸出しや助成等の支援を通じて、樹林地の効率的・効果的な維持管理を推進しました。
- 森づくりに関する技術研修の実施を支援したことにより、森づくり活動を担う会員の人才培养につながりました。
- 専門家の派遣により、生物多様性に配慮した保全管理作業のアドバイスを、活動団体のニーズに応える形で行うことができました。
- 今後は、森づくり活動の安全性向上のため、活動団体の安全管理の状況を把握し、より積極的な専門家派遣を行っていくことも必要です。

3か年の総合評価

A



3か年の実績詳細

■ 道具の貸出し

カマやノコギリといった樹林地を管理するための道具や、救急セットなど安全対策用の道具、腕章や帽子など活動をPRするための道具の貸出しを行いました。

■ 活動に対する助成

森づくり活動の内容や成果、団体の活動記録をまとめ、広く地域の方に配布するための広報誌作成や、森づくり活動を担う会員の森づくりに関する技術研修（動植物の生態情報調査・収集方法の研修）の実施に対して助成を行いました。

■ 専門家の派遣

団体が抱える課題の解決に向け、専門家（アドバイザー）派遣による支援を行いました。

	団体	派遣内容
市民の森等	荒井沢市民の森愛護会	・森づくりボランティアによる谷戸の作業体験・活動支援による橋渡し
	飯島市民の森愛護会	・クヌギ林の枝打ちとそだ柵作り
	今宿市民の森愛護会	・ホタルの生息を目標にした湿地の環境整備 ・樹林地管理作業による環境変化の確認 ・樹林地や湿地の環境変化の確認（観察会）と今後の作業及び役割分担（愛護会と横浜市）の確認
	鍛冶ヶ谷市民の森愛護会	・危険斜面地における樹木管理の手法と意義 ・竹林の間伐材を活用した竹柵作り
	綱島市民の森愛護会	・植生調査及び健全な樹林とするための更新計画
	東寺尾ふれあいの樹林愛護会	・森の現状確認と森の魅力を引き出すための課題整理
	市民の森等愛護会、森づくり活動団体	・活動団体による検討会議の開催（橋渡しの課題や今後の方針について共有）
	ガールスカウト横浜地区スカウトの森	・団体と森づくりボランティアの橋渡し（ロープを使用した伐採や落ち葉かき等を協働で実施） ・森の観察会及びKY活動や草刈実習を通じた安全管理の研修
公園	メゾンふじのき台保存緑地作業部会	・樹林地管理の中長期計画づくり
	陣ヶ下公園愛護会	・植生調査のとりまとめ方法
	茅ヶ崎公園愛護会	・生物多様性を向上させる林床育成方法
	本郷ふじやま公園運営委員会 公園愛護会	・梅林の樹木剪定の方法 ・梅林の樹木剪定成果の確認および施肥の方法

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む



専門家派遣を受けた森づくり活動団体の声

- ・役割分担を整理することができたので、よりよい環境づくりのために愛護会でできる作業を行いたい。
- ・樹林地管理の方向性について、単なる外部専門家のアドバイスを超える提案をいただくことができた。



【写真】アドバイザー派遣による支援の様子
(旭区/今宿市民の森)

8 森の楽しみづくり

- 森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関わるきっかけとなる親子で参加できるイベントや広報活動を展開します。
- 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座等を開催します。



3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		森に関わるイベント等の実施
	平成 26 年度実績	107 回
	平成 27 年度実績	132 回
	平成 28 年度実績	106 回
	3か年累積 [a]	345 回
	5か年目標 [b]	180 回
	3か年計画値 [c]	108 回

目標・計画値に対する進捗率

		森に関わるイベント等の実施
	5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	190% ○
	3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	316%

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	14 百万円	14 百万円
	平成 27 年度決算額	17 百万円	17 百万円
	平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	16 百万円	16 百万円
	3か年累積見込額 [d]	47 百万円	47 百万円
	5か年計画額 [e]	100 百万円	100 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
	5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	47% ○	47% ○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む



3か年の評価・検証

- 5か年目標を上回る実績を上げることができました。引き続き、横浜の森について、多くの市民に理解してもらうため、取組を広げていきます。
- 大学や商工会議所等、多様な団体と協力して事業を進めたことで、市民が森に関わるきっかけをより大きな範囲に広げることに貢献するとともに、実施者側にも横浜の森について知っていただくことができました。
- 森に関わるきっかけとなるイベント等が市民の側からも開催されるよう、インタークリターの養成講座やフォローアップ研修を実施しました。その結果、修了生によるイベントが市内各地で行われました。

3か年の総合評価

A



3か年の実績詳細

イベント	回数	参加人数
間伐材を活用したクラフト教室の開催	225回	21,506人
親子で参加できる森に親しむイベントの開催	66回	16,271人
樹林地を利用したウォーキングイベントの開催	25回	596人
図書館と連携したイベントの開催	14回	241人
森に関わるきっかけづくりパネル展示の実施	15回	一人
インタープリター養成講座	全16回	41人が修了
インターパリター養成講座フォローアップ研修	全6回	11人が受講

■ 間伐材を活用したクラフト教室の開催

間伐材に触れ、楽しみながら森づくりについて学ぶクラフト教室を市内各所で開催しました。



- ・とても楽しかった。
- ・横浜の森の事を知ることが出来て良かった。

【写真】

・全国都市緑化よこはまフェア（旭区/里山ガーデン）

■ 親子で参加できる森に親しむイベントの開催

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」や夜の森を探検する「生き物ウォッチング」など多くの市民を対象とした様々なイベントを開催しました。



- ・親子で有意義な体験ができました。
- ・みどりの大切さを知りました。
- ・身近な環境で生物の多様性を感じることができました。

【写真】「よこはま森の楽校～森にやってくる生き物たち～」の様子（都筑区/東京都市大学）

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

■ 樹林地を利用したウォーキングイベントの開催



- ・何気なく見過ごしていた木々の話も楽しかった。
- ・忙しい毎日でもフッと自然にかえることができ、有意義な時間を過ごせました。
- ・別の季節にも歩きたいと思いました。

【写真】「みどりアップ健康ウォーキング」の様子
(栄区/瀬上市民の森)

■ 図書館と連携したイベントの開催

子どもたちがネイチャーゲームを通して自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考えることができるイベントを市内5館の図書館と連携して開催しました。



イベント開催区
神奈川区
中区
保土ヶ谷区
都筑区
瀬谷区

【写真】「森の中のプレイパーク」の様子
(瀬谷区/本郷三丁目公園)

■ 森に関わるきっかけづくりパネル展示の開催

市内図書館等で、二十四節気パネルの展示会を行いました。二十四節気毎に里山での行事等を紹介し、横浜のみどりの魅力を発信しました。



【写真】「二十四節気パネル展示会」の様子
(港南区/港南図書館)

■ インタープリター養成講座の開催

自然と人との「仲介」し、その魅力を伝えるインタープリターの養成を目的とし、身近なフィールドで森を楽しむプログラムを自ら企画、運営できるようになることを目標に、講座を実施しました。



【写真】「インターパリター養成講座」の様子
(保土ヶ谷区/環境活動支援センター)

9 森に関する情報発信

- 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。
- ウエルカムセンター5館を運営し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	ガイドマップ作成	ウェルカムセンターの運営
平成26年度実績	3地域	推進
	2地域	推進
	2地域	推進
	7地域	推進
5か年目標 [b]	推進	推進
3か年計画値 [c]	推進	推進

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	40百万円	3百万円
	42百万円	3百万円
	41百万円	2百万円
	123百万円	8百万円
5か年計画額 [e]	230百万円	30百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	53%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む



3か年の評価・検証

○新規に指定された市民の森を中心にガイドマップを作成したほか、ウェルカムセンターにおいて森の情報提供や講座の開催を行ったことにより、市民が森を訪れ、学ぶ機会を増やすとともに、森の魅力や保全の意義について広く啓発することができました。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ ガイドマップの作成

ウォーキング等の散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林を1枚にまとめたガイドマップを作成しました。

パンフレット作成地域	区
鍛冶ヶ谷市民の森	栄
南本宿市民の森・市沢ふれあいの樹林・境木ふれあいの樹林	旭、保土ヶ谷
今宿市民の森・鶴ヶ峰ふれあいの樹林	旭
川和市民の森	都筑
泉の森ふれあい樹林・中田宮の台市民の森、新橋市民の森	泉
柏町市民の森	旭
朝比奈北市民の森・峯市民の森	金沢、磯子



【写真】朝比奈北市民の森・
峯市民の森
(金沢区、磯子区)

■ ウェルカムセンターの運営

市内5か所にあるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座等を開催する「普及啓発・環境教育」を行いました。



【写真】森の情報提供
(緑区/新治里山公園にいはる
里山交流センター)



【写真】虫の観察会
(戸塚区/舞岡ふるさと村虹の家)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

10 水田の保全

- 横浜に残る貴重な水田景観を保全するため、水稻作付を 10 年間継続することを条件に、土地所有者に奨励金を交付します。
- 水田景観を保全するうえで必要な水源を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸の設置を支援します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	水田保全承認面積	水源確保施設整備
平成 26 年度実績	119.7ha	1 か所
平成 27 年度実績	120.1ha	1 か所
平成 28 年度実績	120.8ha	2 か所
3か年累積 [a]	120.8ha	4 か所
5か年目標 [b]	125ha	10 か所
3か年計画値 [c]	122ha	6 か所

目標・計画値に対する進捗率

	水田保全承認面積		水源確保施設整備	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	97%	◎	40%	○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	99%		67%	

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	49 百万円	35 百万円
平成 27 年度決算額	36 百万円	34 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	58 百万円	33 百万円
3か年累積見込額 [d]	143 百万円	102 百万円
5か年計画額 [e]	343 百万円	183 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	42%	○



3か年の評価・検証

- 3か年で新規に承認された 6.9ha を加えて水田保全承認面積が水田面積全体の約 9割となり、事業がおおむね順調に進みました。
- 水田は畠作に比べて収益性が低いことに加え、耕作者の高齢化により水稻作付が困難になっている状況の中で、水田保全承認や水源確保のための井戸設置に対する支援は、水田の継続に対して一定の効果があったと考えられます。

3か年の総合評価

B

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



3か年の実績詳細

■ 水田保全承認面積の区別内訳

区名	面積（うち新規）	区名	面積（うち新規）	区名	面積（うち新規）
神奈川	0.1ha	港北	1.1ha	戸塚	9.7ha (0.5ha)
港南	0.7ha (0.1ha)	緑	35.4ha (2.6ha)	栄	2.6ha
保土ヶ谷	0.2ha	青葉	38.3ha (2.4ha)	泉	21.1ha (1.0ha)
旭	0.9ha	都筑	6.8ha (0.1ha)	瀬谷	3.8ha (0.3ha)
※四捨五入の関係により面積の合計は 120.8ha と一致しません。				計	120.8ha (6.9ha)



【写真】夏の水田(緑区)



【写真】秋の水田(戸塚区)

■ 水田保全の維持に必要な井戸の掘削とポンプの更新を支援しました。

水稻作付の継続に必要な水を確保するための井戸の掘削とポンプ更新を支援しました。

- ・井戸施設設置：1か所（緑区）
- ・井戸掘削：1か所（緑区）
- ・ポンプ更新：2か所（青葉区、緑区）



【写真】井戸掘削の様子（緑区）



【写真】設置を支援した井戸施設（緑区）

11 特定農業用施設保全契約の締結

- 市と契約を結び、市長に指定された「農業用施設用地」の固定資産税・都市計画税を10年間軽減します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		特定農業用施設保全契約の締結
平成26年度実績	平成26年度実績	12件 (1,348m ²)
	平成27年度実績	14件 (2,065m ²)
	平成28年度実績	14件 (1,640m ²)
	3か年累積 [a]	40件 (5,053m ²)
5か年目標 [b]	制度運用	
3か年計画値 [c]	制度運用	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	平成26年度決算額	1百万円	0百万円
	平成27年度決算額	1百万円	0百万円
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	1百万円	0百万円
	3か年累積見込額 [d]	3百万円	0百万円
5か年計画額 [e]	5百万円	—百万円	—

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	60%	◎	— %



3か年の評価・検証

- 毎年度10件以上の契約を結んでおり、概ね計画通りの進捗となりました。
- 農家の負担が軽減されることで、その農家が耕作する農地を保全することにつながりました。

3か年の総合評価

B

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



3か年の実績詳細

■ 農業用施設の指定基準

- (1) 全て農業用に使用されている施設。
- (2) 施設の一部が農業以外の用途に使用されている場合は、以下の要件を満たす施設。
- ・農業専用部分と非農業専用部分が壁などで明確に分かれていること
 - ・農業専用部分の床面積の合計が延床面積の2分の1以上であること
 - ・二階建て以上の場合、一階はすべて農業専用であること



【写真】指定された農業用施設（保土ヶ谷区）



【写真】指定された農業用施設（栄区）

■ 区別指定一覧

区名	件数	指定面積
鶴見	1 件	189 m ²
神奈川	3 件	221 m ²
保土ヶ谷	3 件	291 m ²
旭	3 件	380 m ²
港南	1 件	111 m ²
緑	2 件	161 m ²

区名	件数	指定面積
青葉	3 件	527 m ²
都筑	1 件	23 m ²
泉	3 件	286 m ²
戸塚	15 件	2271 m ²
栄	2 件	163 m ²
瀬谷	3 件	431 m ²
合 計	40 件	5,053 m ²

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません。

12

農景観を良好に維持する取組の支援

- 生物多様性の保全に配慮し、周辺環境と調和した良好な農景観を保全・形成するため、地域の農家が組織する団体の維持・管理の取組を支援します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		良好に維持されて いる農地の面積	田園景観保全 水路整備	共同利用設備の整備
平成26年度実績	704.3ha	1地区	2件	
	718.0ha	2地区	1件	
	723.0ha	3地区	2件	
	723.0ha	6地区	5件	
5か年目標 [b]	680ha	5地区	25件	
3か年計画値 [c]	721ha	3地区	15件	

目標・計画値に対する進捗率

		良好に維持されて いる農地の面積		田園景観保全 水路整備		共同利用設備の整備	
5か年目標に対する 進捗率 [a/b×100]	106%	◎	120%	◎	20%	△	
3か年計画値に対する 進捗率 [a/c×100]	100%		200%		33%		

<事業費の執行状況>

		事業費		うち横浜みどり税	
平成26年度決算額	75 百万円		17 百万円		
	96 百万円		17 百万円		
	96 百万円		15 百万円		
	267 百万円		49 百万円		
5か年計画額 [e]	562 百万円		200 百万円		

計画額に対する進捗率

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	48%	○	25%	△	

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



3か年の評価・検証

- 農地の保全活動に対して支援を行うことで、地域での水路清掃などの管理活動が活発になり、まとまりのある農地の環境・農景観が良好に維持されました。
- 生物多様性等環境に配慮した水路整備（田園景観保全水路整備）に対する支援は、畠などへの転用による水田の減少の抑制効果や、農景観及び農的環境の向上に効果があったと考えます。
- 地域団体が利用するための肥化設備などの共同利用設備の整備については助成件数が伸びていないため、支援の対象となる設備を各団体の状況に合わせて、柔軟に支援できる方向で条件の見直しを行いました。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 農地とその周辺の農景観保全のための活動を支援しました

まとまりのある農地の維持管理活動を行っている、各地区の農家団体を支援するとともに、農地周辺部の道路・水路の清掃・草刈りや、景観植物の植栽・管理といった取組に対して支援を行いました。

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
①	農地維持管理団体への支援	52団体	55団体	57団体
②	道路・草刈りを行う団体への支援 ※	46団体	46団体	51団体
③	景観植物の植栽・管理を行う団体への支援 ※	5団体	5団体	5団体

※②・③は、①の団体のうち、当該の取組を行っている団体に対する支援です。



【写真】地域団体により保全されている農景観（泉区）

■ 水路機能の維持のための水路改修及び環境に配慮した水路整備を支援しました

老朽化し、機能が低下している水路の改修と併せて、環境に配慮した水路整備について支援を行いました。



【写真】水路整備により保全をはかった水田（左：緑区、右：青葉区）

■ 共同利用設備の整備

農業活動により生じるせん定枝や作物残さ等を堆肥化してリサイクルに取り組む団体に、必要な機械や設備の購入を支援しました。



【写真】せん定枝チッパー（左）とバケットローダー（右）（旭区）

区	件数
保土ヶ谷区	1件
旭区	1件
緑区	1件
栄区	1件
瀬谷区	1件

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

13 多様な主体による農地の利用促進

- 意欲ある農家や新規参入を希望する企業等が農地を安定的に利用できるよう、農地を長期間貸し付ける場合、農地所有者に対し支援します。
- 遊休化した農地を市が一時的に借り受けて復元し、農地の利用を希望する担い手に貸し付けます。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

長期貸付開始農地（累計貸付農地）	
平成 26 年度実績	4.1ha (66.4ha)
平成 27 年度実績	10.6ha (77.0ha)
平成 28 年度実績	16.6ha (93.6ha)
3か年累積 [a]	93.6ha
5か年目標 [b]	80ha
3か年計画値 [c]	79ha

目標・計画値に対する進捗率

長期貸付開始農地		
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	117%	◎
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	118%	

<事業費の執行状況>

事業費		うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	23 百万円	23 百万円
平成 27 年度決算額	31 百万円	31 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	31 百万円	30 百万円
3か年累積見込額 [d]	85 百万円	84 百万円
5か年計画額 [e]	177 百万円	177 百万円

計画額に対する進捗率

事業費		うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	48%	○



3か年の評価・検証

- 平成22年度から運用してきた農地の貸し借りを促進する制度が浸透し、目標を上回る進捗となりました。
- 農地の長期貸付が進み、意欲のある担い手により遊休農地が耕作されることで、
営農環境が向上し、良好な農景観が保全されました。

3か年の総合評価

A

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



3か年の実績詳細

■ 長期間の農地貸付の支援を行いました

農地の遊休化を防ぐためには、安定的な農業経営が必要です。農地を長期間借りられるようになると今後の農業経営の見通しが立てやすくなり、農業経営の安定化に役立つため、市は6年以上の長期貸付を支援しています。

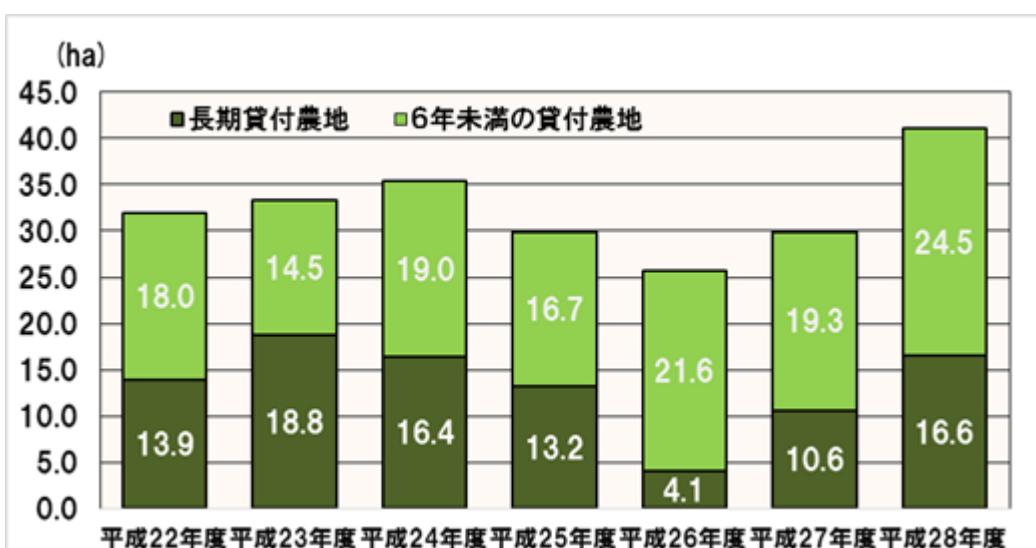
農家が長期間安定して耕作を行うことで、良好な農景観が維持されます。



【写真】長期貸付した農地（旭区）



【写真】長期貸付した農地（戸塚区）



【図】長期貸付農地面積の推移



利用者の声

- 農地を長期で借りることができ、長期的な作付計画を立てることができますようになりました。

14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援や整備を進めます。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		様々な市民ニーズに合わせた農園の開設			
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
平成26年度実績	平成26年度実績	5.7ha	1.5ha	2.8ha	1.4ha
	平成27年度実績	4.6ha	1.0ha	2.2ha	1.4ha
	平成28年度実績	5.6ha	2.5ha	2.1ha	1.0ha
	3か年累積 [a]	15.9ha	5.0ha	7.1ha	3.8ha
5か年目標 [b]		25.8ha	12.5ha	6.0ha	7.3ha
3か年計画値 [c]		(15.5ha)	—	—	—
目標・計画値に対する進捗率					
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		62% ○	40% ○	118% ○	52% ○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]		103%	—	—	—

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	平成26年度決算額	739 百万円	354 百万円
	平成27年度決算額	602 百万円	65 百万円
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	695 百万円	227 百万円
	3か年累積見込額 [d]	2,036 百万円	646 百万円
5か年計画額 [e]		2,514 百万円	1,101 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		81% ○	59% ○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



3か年の評価・検証

- 開設支援や整備を行った農園を合計すると、3か年で 15.9ha となり、果物のもぎとりや野菜の栽培など、市民が農を感じる場が多く作られました。
- 事業として農園の開設に関心を持つ農家も多く、継続して取り組むことで、市民だけでなく農家のニーズにもこたえることが可能です。
- 農園付公園は、3か年で整備が完了した7か所のほか、複数箇所で事業が進んでいます。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 収穫体験農園の開設支援

ナシ、ブドウなどの果樹園の整備支援を行い、農家が栽培した旬の果物を収穫体験できる農園が増えました。

農園開設整備の支援		
神奈川区	1か所	0.1ha
旭区	2か所	0.2ha
港北区	1か所	0.1ha
緑区	3か所	0.6ha
都筑区	3か所	0.1ha
青葉区	1か所	0.1ha
戸塚区	5か所	0.6ha
泉区	6か所	0.8ha
瀬谷区	4か所	0.9ha

農園の内訳	
ナシ	8か所
ブドウ	9か所
カキ	2か所
ミカン	3か所
イチゴ	1か所
キウイ	2か所
ブルーベリー	3か所
イチゴ、トマト	1か所

果樹苗木育成の支援	
11件	2.1ha

※四捨五入および重複か所があるため、内訳と合計は一致しません。

イモ掘取り等の支援	
1件	0.5ha

※市内の収穫体験農園：34か所
(平成29年3月末時点)



農園開設者の声

- お客様の笑顔を楽しみに、品種等の勉強もしながら、日々、栽培に勤しんでいます。



【写真】開設を支援した収穫体験農園
(ミカン／緑区東本郷町)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 市民農園の開設支援

土地所有者が農園を開設するための支援を行い、3か年で7.1haの農園が開設されました。

- ・特区農園…区画貸しタイプの市民農園
- ・環境学習農園…児童・生徒などを対象に農家が指導を行う農園

区	特区農園	環境学習農園	計
神奈川	0.49ha	—	0.49ha
港南	0.14ha	—	0.14ha
保土ヶ谷	0.34ha	—	0.34ha
旭	0.75ha	—	0.75ha
磯子	0.06ha	—	0.06ha
港北	0.65ha	—	0.65ha
緑	0.52ha	—	0.52ha
青葉	1.45ha	—	1.45ha
都筑	0.23ha	—	0.23ha
戸塚	1.49ha	0.14ha	1.63ha
栄	0.07ha	—	0.07ha
泉	0.84ha	—	0.84ha



【写真】特区農園（戸塚区）



【写真】環境学習農園（戸塚区）

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません



農園利用者の声

- ・生徒に直接作物の栽培教育をすることができて大変役立ちました。
(環境学習農園を利用している小学校)
- ・身近な場所で作物の栽培を体験できてよかったです。(特区農園利用者)

■ 農園付公園の整備

平成29年4月に2か所(1.0ha)が開園し、3か年で7か所(3.8ha)の農園付公園の整備を完了しました。

区	公園名	面積
鶴見	東寺尾一丁目ふれあい公園	0.3ha
神奈川	菅田町赤坂公園	0.4ha
保土ヶ谷	今井の丘公園(拡張)	0.6ha
港北	師岡町梅の丘公園	1.0ha
都筑	大棚杉の森ふれあい公園	1.0ha
戸塚	ハマヤク農園	0.4ha
泉	泉が丘公園(拡張)	0.1ha

- 市内の農園付公園

4.2ha/8か所(平成29年3月末時点)

※平成25年度開園の南本宿第三公園(0.4ha)を含む



【写真】今井の丘公園(保土ヶ谷区)



【写真】菅田町赤坂公園(神奈川区)



農園付公園の利用者の声

- 野菜作りの経験はありませんでしたが、まわりの方からいろいろいろいろ助言をいただきながら野菜を育てています。
- 野菜の世話をするために毎日公園に行くので、地域の人たちが自然と集まる場所になっています。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

15 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

- 市民と農家を結ぶ交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農と触れ合う機会を提供します。
- 農家と地域住民の協働により、連携して地域の農的環境の保全を図る取組を支援します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		農体験教室などの実施	あぐりツアーオの開催	農ある地域づくり協定実施件数	農体験講座
平成26年度実績	94回	3件	-件	5回	
	89回	3件	2件	5回	
	87回	4件	1件	5回	
	270回	10件	3件	15回	
5か年目標 [b]	500回	20件	4件	25回	
3か年計画値 [c]	300回	12件	4件	15回	
目標・計画値に対する進捗率					
		農体験教室などの実施	あぐりツアーオの開催	農ある地域づくり協定実施件数	農体験講座
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	54%	○	50%	○	75% ○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	90%		83%		75% 100%

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	11 百万円	○ 百万円
平成 27 年度決算額	11 百万円	○ 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	9 百万円	○ 百万円
3か年累積見込額 [d]	31 百万円	○ 百万円
5か年計画額 [e]	62 百万円	○ 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	50%	○	—



3か年の評価・検証

- 事業全体として3か年目標に対して約9割の進捗となっており、概ね順調な進捗でした。
- 横浜ふるさと村、恵みの里での米作り教室やみそ作り教室、サツマイモ等の収穫体験により、市民が農と触れ合う機会が増えました。
- 農のある地域づくり協定事業は、3か年目標である4件のうち、3件の進捗となりました。農家と地域住民の協働による、地域の農的環境の保全が進んでいます。
- 農体験講座の実施により、小学生が家族と一緒に農とふれあえる機会を増やすことができました。引き続き、農体験の場を提供していくとともに、農作業の体験だけでなく、収穫物を利用した食育につなげる等、講座の取組を進めます。

3か年の総合評価

A

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



3か年の実績詳細

■ 農体験教室などの実施に対して支援しました

横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施した農体験教室等に対して支援しました。

〈横浜ふるさと村、恵みの里の開催実績〉

場所	回数	詳細
舞岡ふるさと村	48回	トウモロコシ・ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
田奈恵みの里	67回	米作り教室、農産加工教室、サツマイモ掘り等
新治恵みの里	74回	米・大麦・小麦作り教室、農業イベント開催等
都岡地区恵みの里	57回	もち米、小麦・サツマイモ作り教室等
柴シーサイド恵みの里	24回	ミカン狩り、ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
合計	270回	



【写真】ラッカセイ収穫体験
(恵みの里の収穫体験
/緑区長津田三丁目)



【写真】サトイモ掘り
(ふるさと村の収穫体験
/戸塚区舞岡町)



【写真】お米の収穫
(恵みの里の農業教室
/緑区新治町)

■ 農ある横浜・あぐりツアーを開催しました

市民に向けて農業専用地区などの市内の農畜産物の生産現場や直売所の見学を行うことで、市内の農業を身近に感じるだけでなく、農業に対する理解も深めていただきました。

＜あぐりツアー開催実績＞

場所	時期	詳細
神奈川区	平成 26 年 8 月	農業専用地区の見学、浜なし・浜ぶどうの収穫体験
泉区	平成 26 年 9 月	直売所の見学とサツマイモ掘り
神奈川区、都筑区	平成 27 年 2 月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験
青葉区	平成 27 年 9 月	寺家ふるさと村の見学、浜なしの話・収穫体験
保土ヶ谷区	平成 27 年 11 月	苅部大根の話と収穫体験、直売所見学
都筑区	平成 28 年 3 月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験
保土ヶ谷区	平成 28 年 8 月	横浜の農業の話、環境活動支援センター見学、ナシ・ブドウの収穫体験
青葉区、緑区	平成 28 年 10 月	サツマイモ掘り、田奈恵みの里の話、四季菜館見学
保土ヶ谷区	平成 28 年 11 月	西谷農業専用地区の見学、苅部大根の話と収穫体験、直売所見学
金沢区	平成 28 年 12 月	柴農業専用地区の見学、ミカン狩り、柴シーサイド直売所見学



参加者の声

- ・自然豊かな場所で話を聞きながら散策できて楽しかった。
- ・横浜にこんなに農地があるなんて知らなかった。



【写真】苅部大根の収穫体験
(保土ヶ谷区)

【写真】農家による説明と
ミカン狩り (金沢区)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 市民と農家の協働による「農のある地域づくり協定」を締結しました

農家と地域住民が協働で農的環境を維持・保全する活動に対して支援を行いました。

<3か年の新規協定一覧協定一覧>

区・町名	支援内容
神奈川区三枚町	援農、農産加工活動ほか
戸塚区舞岡町	援農、地域交流活動ほか
保土ヶ谷区上菅田町・ 緑区鴨居七丁目	援農、景観保全活動ほか



【写真】サトイモの土寄せ作業
(緑区鴨居七丁目)



活動に参加した住民の声

- 農家の作業を実体験し、農家がどんなことで苦労しているのかが分かりました。

■ 家族で学ぶ農体験講座を開催しました

小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験する連続講座を環境活動支援センター（保土ヶ谷区）内の畑で開催しました。



参加者の声

- 作業は大変だったけど、初めて体験することばかりで楽しかった。
- 鍬や鎌を使うのが難しかった。
- 試食が本当においしかった。家でも収穫物を食べながら、講座の話をした。



【写真】みんなで除草作業



【写真】サツマイモの収穫

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 地域でとれた農畜産物などを販売する直売所の整備等の支援を実施するとともに、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市の運営を支援します。
- 市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や、公共施設や農地の縁辺部等への植栽に活用します。
- 地産地消に関する情報誌・パンフレットの発行や、イベントの開催などによる情報発信・PRを実施します。



3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		直売所等の支援	青空市の運営支援	緑化用植物の生産・配布	情報発信・PR活動
	平成26年度実績	4件	4件	27,533本	推進
	平成27年度実績	11件	5件	26,108本	推進
	平成28年度実績	10件	5件	26,560本	推進
	3か年累積 [a]	25件	14件	80,201本	推進
5か年目標 [b]		52件	25件	125,000本	推進
3か年計画値 [c]		31件	15件	75,000本	推進
目標・計画値に対する進捗率					

		直売所等の支援	青空市の運営支援	緑化用植物の生産・配布	情報発信・PR活動
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	48%	○	56%	○	64% ○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	81%		93%	107%	—

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	28 百万円	○ 百万円
平成 27 年度決算額	36 百万円	○ 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	34 百万円	○ 百万円
3か年累積見込額 [d]	98 百万円	○ 百万円
5か年計画額 [e]	257 百万円	○ 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	38%	△



3か年の評価・検証

- 「はまっ子朝市」いすみ野即売会の他、24 件の直売所等の整備を通じて、市民が身近な所で市内産農畜産物を購入できる場等を増やしました。また、青空市でのイベントの開催により、農家との交流の機会を提供しました。
- 市民配布や公共緑化等を通じて、市内産植木や草花に親しめる機会を創出しました。
- 情報発信・PR活動については、横浜の農業や農畜産物をより身近に感じていただく観点から、生産者や事業者の取組やマルシェの情報などを記載した情報誌を発行しました。また、イベントについても、生産者、企業、大学とも連携し、効果的に実施しました。今後は、市内産農畜産物に関心はあるものの、日常的に購入するには至っていない層へのアピールが必要です。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 直売所、加工所の備品購入の支援を行いました

直売所等を支援することによって、市民がより身近に新鮮な農畜産物を購入できる機会を提供することができました。また、青空市のイベント開催を支援し、市民が農家と交流できる機会を提供することができました。

直売所等の支援	
神奈川区	3 件
旭区	3 件
港北区	5 件
緑区	4 件
都筑区	1 件
戸塚区	4 件
泉区	5 件
合計	25 件



【写真】備品購入を支援した直売所
（「はまっ子朝市」いずみ野即売会/泉区）



【写真】運営を支援している青空市
(横浜中部地区市民朝市/保土ヶ谷区)

青空市の運営支援

西区	3 件	みなとみらい農家朝市（高島中央公園）
保土ヶ谷区	3 件	横浜中部地区市民朝市（保土ヶ谷公園ミニ運動場）
緑区	5 件	長津田駅前直売所（横浜農協長津田支店前） 北八朔日曜朝市直売会（北八朔上自治会館前広場）
戸塚区	3 件	東戸塚市民朝市 (東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1駐車場)
合計	14 件	

■ 市内産の苗木・花苗をPRしました

市内産の苗木・花苗のイベントでの市民配布や公共緑化、区役所等での展示を通じて、市内産植木や草花に親しめる機会を創出するとともに、多様な横浜の農をPRしました。



【写真】市内産苗木の配布
(舞岡ふるさと村 虹の家/戸塚区)



【写真】花苗の配布・展示
(マークイズみなとみらい/西区)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 情報発信・PR

市民が農を感じるための取組として、「はまふうどナビ」等の情報誌を発行したほか、みなとみらい地区でPRイベント「横浜食と農の祭典 2014」「横浜食と農の祭典 2015」を開催しました。また、JA横浜と連携したイベント「横浜農業の彩典 2016」では、市内の生産者が育てた野菜苗や花苗を展示し、横浜の魅力ある農業と農畜産物を「横浜農場」としてPRするとともに、展示後の苗は、子どもたちの学習に活用してもらうため、農に触れる機会の少ない都心部の小学校・保育所等に配布しました。

はまふうどナビ	
第33号	横浜の夏 とうもろこし特集
第34号	太陽の下でたっぷりの水と栄養を吸って育った里芋特集
第35号	横浜農場物語 横浜を彩る花特集
第36号	横浜農場発 横浜のたまご特集
第37号	とれたてホクホク新じゃが特集
第38号	黄金色に輝く田園風景 横浜の米特集
第39号	はまふうど鍋特集 (市内産の野菜を用いた鍋)
第40号	畑とつながる横浜生まれのいいもの特集
第41号	横浜野菜サラダ図鑑
第42号	地産地消マルシェ＆イベント特集
第43号	丸ごとシャキッ！横浜キャベツ特集
第44号	よこはま花特集



【写真】はまふうどナビ



【写真】「横浜農業の彩典 2016」（グランモール公園/西区）



横浜農業の彩典 2016

来場者の声

・横浜の農業の多様性に驚きました。

・苗が大変立派で、農家さんに育て方のコツを聞きたいです。

17 地産地消を広げる人材の育成

- 地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成するとともに、活動を支援します。
- 地産地消に関するフォーラムを、市民・企業等と連携して開催します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	はまふうどコンシェルジュの活動支援	フォーラムの開催
平成26年度実績	14件	1回
	22件	1回
	27件	1回
	63件	3回
5か年目標 [b]	100件	5回
3か年計画値 [c]	60件	3回

目標・計画値に対する進捗率

	はまふうどコンシェルジュの活動支援		フォーラムの開催	
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	63%	◎	60%	◎
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	105%		100%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	2 百万円	0 百万円
	3 百万円	0 百万円
	3 百万円	0 百万円
	8 百万円	0 百万円
5か年計画額 [e]	22 百万円	0 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率(見込) [d/e×100]	36%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー イ 市民が身近に農を感じる場をつくる



3か年の評価・検証

- はまふうどコンシェルジュの育成は着実に進んでおり、市民向けのマルシェ、収穫体験等の活動が活発になっています。今後は、コンシェルジュによる自主的な活動の場や機会をさらに充実させるため、きめ細かな支援が必要です。
- フォーラムについては、「地産地消のビジネス」「横浜の農業・野菜の魅力の伝え方」など、毎年テーマを変えながら、生産者、事業者、市民の皆様の情報交換や交流を行い、ネットワークが拡充されました。

3か年の総合評価

A



3か年の実績詳細

■ はまふうどコンシェルジュの活動支援を行いました

地産地消を広げる人材として、はまふうどコンシェルジュを育成するとともに、コンシェルジュが開催するマルシェや市民向けバスツアーなどの活動支援を行っています。

3か年で奨励事業56件・補助事業7件の計63件の活動支援を行いました。

はまふうどコンシェルジュの活動支援			
【奨励事業】56件		【補助事業】7件	
マルシェの開催	26件	講演会の開催と印刷物の発行	1件
農作業体験教室の開催（単日）	13件	市民向けイベントの開催	6件
農作業体験教室の開催（期間）	10件		
市民向けバスツアーの開催	7件		

はまふうどコンシェルジュ育成講座

第1回	横浜の「農」と地産地消（市の農業の概要と地産地消の取組についての講義）
第2回	横浜の「農」を味わう（中央卸売市場の見学と横浜野菜を使った調理実習等）
第3回	横浜の「農」を体験する（生産者と一緒に収穫や直売の体験）
第4回	横浜の「農」を巡る（市内の生産現場を見学するバスツアー）
第5回	これからの地産地消（今後の活動などを考えるワークショップを実施）



【写真】マルシェ



【写真】農作業体験教室



【写真】バスツアー

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 「食と農のフォーラム」を実施しました

地産地消に取り組む市民・企業等の交流や情報交換等を行うフォーラムを、市民・企業と連携して開催しました。

年度	①開催日 ②開催場所 ③来場者数	内容
平成 26 年度	①平成 27 年2月4日 14 時～17 時 ②ヨコハマ創造都市センター ③約 150 人	●基調講演 「あなたが地域を輝かせる 10 のヒント」 ●トークセッション ●交流会
平成 27 年度	①平成 28 年2月9日 15 時～17 時 30 分 ②横浜開港記念会館 ③約 80 人	●事例紹介 ・都市型マルシェ”横浜北仲マルシェ”について ・新たな流通システム”SEND”の構築と展開について ・市と連携した農家と飲食店の交流について ●トークセッション ●交流会
平成 28 年度	①平成 29 年2月 14 日 13 時 30 分～16 時 30 分 ②横浜開港記念会館 ③約 30 人	●講義 「横浜の農業・野菜の魅力の伝え方」 ～「神奈川食べる通信」の制作を通じて～ ●グループワーク ●発表・意見交換会

【平成 28 年度フォーラムの様子】



【写真】講義



【写真】グループワーク



【写真】発表、意見交換



- ・生産者から意見を聞き出す方法や写真の撮り方など、参考になることがたくさんありました。
- ・グループごとに異なる媒体を選んだことで色々な視点から得るものがありました。

18

市民や企業等との連携

- 地産地消を広げる「農と企業等との連携」のマッチングを行います。
- 市内の中小企業等を対象とした、地産地消に関するビジネスを創出するための支援を行います。
- 学校給食での市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携した小学生の料理コンクールやパンフレットの配布などを実施します。



3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	企業等との連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の利用促進
平成26年度実績	5件	推進	推進
	8件	5件	推進
	12件	5件	推進
	25件	10件	推進
5か年目標 [b]	50件	25件	推進
3か年計画値 [c]	20件(※)	12件(※)	推進

目標・計画値に対する進捗率

	企業等との連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の利用促進
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	50%	○	40%
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	125%		83%

※各事業の年度ごとの計画値

	企業等との連携	ビジネス創出支援
平成26年度	5件	—
平成27年度	5件	5件
平成28年度	10件	7件
平成29年度	15件	8件
平成30年度	15件	5件

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	1 百万円	○ 百万円
平成 27 年度決算額	4 百万円	○ 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	11 百万円	○ 百万円
3か年累積見込額 [d]	16 百万円	○ 百万円
5か年計画額 [e]	43 百万円	○ 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	37%	○



3か年の評価・検証

- 地産地消に関する企業からの相談は毎年増加しており、企業等との連携による、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催などの取組が進みました。
- 地産地消ビジネスの創出支援により、新規創業者による市内産農畜産物を使用した新たな加工品（ドレッシング、ジャムなど）が新たに生まれるなど、様々な取組が広がっています。
- 小学校給食での市内産農産物（ダイコン、キャベツなど）の一斉供給を行うとともに、小学生が市内産農産物を使用した学校給食のメニューを提案する「はま菜ちゃん料理コンクール」の取組でも年々参加者が増加し、子どもたちに地産地消の重要性が浸透しています。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 企業等と連携しました

企業と連携し、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のPRを図りました。

平成 26 年度 連携実績 【連携件数：5 件】	
そごう等との連携によるマルシェの開催	4, 7、11月
ヤマザキ製パン(株)との連携による新商品の企画及びPR	10~12月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11月
東京ガス(株)との連携による「地産地消・食育」をテーマとした料理教室の開催	11月 27日
JR東日本との連携による横浜線沿線でのマルシェ開催等	通年

平成 27 年度 連携実績 【連携件数：8 件】	
東日本旅客鉄道(株) 横浜支社との連携による市内産トマトソースを使った新商品の企画・PR	6~8月
(株)ミツハシとの連携による市内産米の販売	9月
山崎製パン(株) 横浜第二工場との連携による横濱ビーフを使った新商品の企画・PR	9~10月
(株)そごう・西武 そごう横浜店との連携による市内産リンゴを使った新商品の企画	9~10月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11月
(株)代官山ワールド等との連携による「横浜北仲マルシェ」への市内農家の参加	1~3月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「ストロベリーフェスティバル」における市内産イチゴの販売	2月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「鍋小屋 2016」における市内産春菊・シイタケの使用	2月

平成 28 年度 連携実績 【連携件数：12 件】	
東日本旅客鉄道(株)横浜支社との連携による横浜線沿線でのマルシェの開催	4月~
(株)ルミネ ルミネ横浜店との連携によるマルシェの開催	4月~
ベイクォーターにおけるイベントでの市内産農畜産物の販売	5月
横浜農業協同組合との連携による横浜農場のPR	5月
山崎製パン(株) 横浜第二工場との連携による市内産トマトを使用した新商品の企画・PR	7~8月
(株)ルミネ ルミネ横浜店との連携によるイベント「FUN! NIPPON FESTIVAL」における、飲食店での横浜産野菜を使用した限定メニューの提供	8月
カルビー(株)との連携による市内産農産物を使用した試食品の提供及び直売の実施	9月
オーケー(株)との連携による店舗での市内産農産物の販売	9月~
東京家政学院大学との連携による講義及び朝市へのアンケート調査の実施	10~11月
市内レストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催	11月
MARK IS・横浜ワールドポーターズとの連携による花き展覧会のPR（花の展示）	11月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベントでの市内産イチゴの販売・PR	2月



①



②



③



④

【写真】

- ①山崎製パンによる新商品
- ②ルミネマルシェの開催
- ③みなとみらいホテルでの地産地消フェアの実施
- ④Yokohama Strawberry Festival 2017 での横浜産イチゴの販売

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

■ 地産地消のビジネス創出を支援しました

ビジネスプラン策定を支援する育成講座を開催しました。また、平成 26・27 年度の育成講座を受講し、補助対象に選定された計 10 件の事業化を支援するとともに、平成 29 年度に事業化を支援する 5 件の事業を新たに選定しました。

<平成 27 年度の支援対象事業>

事業名	事業者名	内容
地産地消の店 まごころふあーむ	横山 宜美	こだわって栽培したトマト「サンロード」を使用したオリジナル商品の開発と販売
旅するコンフィチュールギフト商品開発	違 克美	市内産農産物等を使用したコンフィチュール（ジャム）のギフト商品開発
オフィスに届ける サラダランチ	有澤 厚子	市内産の野菜を使用したサラダランチを開発しオフィスにお届け
横浜青みかん商品化 プロジェクト	奥井 奈都美	摘果された青みかんを使用したドレッシングの開発と販売
こどもやさしい検定 プロジェクト	和賀 康子	親子で実施できるやさしい検定の企画と開発



<平成 28 年度の支援対象事業>

事業名	事業者名	内容
サッと炊ける フライパンごはん	東 みちよ	市内産の米を使用した、フライパンで調理できるごはんの開発と販売
腹ペこキッズ プロジェクト	大滝 千香子	市内産食材を使用したスポーツをする子ども向けの高栄養メニューの提案と市内産農畜産物を使用したふりかけの開発
生産物直売所を鶴見 に作るプロジェクト	阪田 守昭	新規就農者への販路提供とともに、直売所の少ない鶴見区に新鮮野菜と農体験を提供する場づくり
地産地消・食育ワーク ショップ& ハンドブック	菅 千明	地産地消の食育ワークショップの企画・運営とそれに連動したハンドブックの制作・販売
横浜野菜たっぷり カレー	中尾 真紀子	市内産の野菜を使用したレトルトカレーの開発と販売



<平成 29 年度の支援対象予定事業>

事業名	事業者名	内容
ブルーベリーの葉を利用した 商品の開発	金子 明美	日本初のブルーベリー葉茶作り教室の開催と葉茶関連商品の販売
農家の食卓プロジェクト	小間 一貴	横浜野菜の魅力を伝える、農家の手作り加工品の販売
観光土産「横浜産フレーバーナ ッツ」開発について	坂本 奈緒子	横浜産の野菜・果物や加工品を使用したフレーバーナッツの開発・販売
生産者と消費者がつながる「ま ちなかワイナリー」を横浜につ くる	町田 佳子	生産者と消費者をつなげる、横浜産の果物を使ったワインづくり
横浜野菜を使った野菜マフィ ンギフトの開発と販売	水島 綾子	通信販売による横浜野菜を使ったギフト商品の販売

■ 学校給食での市内産農産物の利用を促進しました

J A 横浜及び市内の農家等と連携し、市内の小学校・特別支援学校に、給食で使用する農産物を届け、子ども達に提供しました。

また、市内の小学生を対象に、市内産農産物を使用した学校給食のメニューを募集する「はま菜ちゃん料理コンクール」を開催しました。

①市内の小学校・特別支援学校への一斉供給について

年度	供給品目	実施月	実施校数
平成 26 年度	キャベツ	11月	327 校
平成 27 年度	キャベツ・ダイコン	11月	329 校
平成 28 年度	米・ダイコン	7月・11月	332 校・326 校

②はま菜ちゃん料理コンクールについて

年度	テーマ食材	応募点数
平成 26 年度	キャベツ	1,362 点
平成 27 年度	キャベツ・コマツナ	1,430 点
平成 28 年度	ダイコン・コマツナ	1,595 点



【写真】はま菜ちゃん料理コンクール
本選



コンクール参加者の声

- 野菜がたっぷり食べられるように、味付けを工夫してつくりました。
- たくさん的人に食べてもらい、笑顔になってほしいです。
- コンクールに参加して、ますます料理が好きになりました。

■ 「横浜農場」による PR を進めます

28年度に、地産地消条例等に基づき、「横浜市の農畜産物等のブランド化に向けたプロモーションの取組について」を取りまとめました。

今後、市内産農畜産物等のブランド化を進め、その魅力を発信するため、

①プロモーションの強化（「横浜農場」（※）による統一的PR）

②都心臨海部での展開（都心臨海部で市内産を購入・味わえる場や機会を増やし、市内外へ魅力発信）

③人材・場の活用や各分野との連携（横浜らしさを生かし、観光や食育分野と連携）などを重点的に進めます。

※横浜農場…意欲的な生産者や多彩な農畜産物、農景観など、身近に魅力ある農が存在する横浜を農場に見立て、「横浜農場」というキャッチフレーズでPRするものです。



3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ウ 市民が実感できる緑をつくる

ウ 市民が実感できる緑をつくる

19

民有地における緑化の助成

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、緑化費用の一部を助成します。(一般助成)
- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区における公開性や視認性のある緑化に対しては、上限額の引き上げや、維持管理費用の一部などにも助成します。(拡充助成)



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		緑化の助成
平成26年度実績	平成26年度実績	5件
	平成27年度実績	5件
	平成28年度実績	7件
	3か年累積 [a]	17件
5か年目標 [b]		65件
3か年計画値 [c]		39件

目標・計画値に対する進捗率

緑化の助成		
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	26%	△
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	44%	

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	2 百万円	0 百万円
平成 27 年度決算額	2 百万円	1 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	2 百万円	0 百万円
3か年累積見込額 [d]	6 百万円	1 百万円
5か年計画額 [e]	148 百万円	123 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	4%	△



3か年の評価・検証

- 民有地での緑化推進を図るため、緑の少ない5区では、屋上緑化や壁面緑化だけでなく公開性や視認性の高い場所での地面での緑化を対象とするなど、助成内容を拡充して取組を実施しましたが、助成件数が3か年計画値の半分程度に留まりました。
- 多くの市民の目に触れる場所で制度がさらに活用され、緑の創出が実感できるように、効果的な広報を行うとともに、より利用されやすい工夫も必要です。

3か年の総合評価

C

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ウ 市民が実感できる緑をつくる



3か年の実績詳細

■ 屋上・地面緑化の費用の一部を助成しました

3か年で、個人宅のバルコニーや、集合住宅の屋上や壁面の緑化を、一般助成として13件、また拡充助成として公開性のある地面緑化4件、合計17件に対して助成を行いました。

<区別の実績>

区名	町名	件数
鶴見	北寺尾四丁目	4（拡充2）
	駒岡四丁目	
	鶴見中央二丁目	
	東寺尾北台	
神奈川	神奈川二丁目 三ツ沢東町	2
西	平沼一丁目 みなとみらい四丁目（2件）	3
中	山手町	1（拡充1）
南	六ツ川二丁目	1（拡充1）
港南	上永谷五丁目	1
保土ヶ谷	帷子町	1
磯子	西町	1
緑	鴨居五丁目	1
都筑	早渕二丁目	1
瀬谷	三ツ境	1



【写真】屋上緑化の事例
(西区みなとみらい)



【写真】公開性のある緑化の事例
(中区山手町)



制度利用者の声

・助成金を活用したことで、身近な緑を増やすことができました。

20 建築物緑化保全契約の締結

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い保全することに対し、建築物所有者等の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		緑化の助成
平成26年度実績	5件	(約2.4ha)
	7件	(約1.4ha)
	4件	(約5.9ha)
	16件	
5か年目標 [b]	制度運用	
3か年計画値 [c]	制度運用	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	O 百万円	O 百万円	O 百万円
	O 百万円	O 百万円	O 百万円
	O 百万円	O 百万円	O 百万円
	O 百万円	O 百万円	O 百万円
5か年計画額 [e]	O 百万円	O 百万円	O 百万円

		事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	—	—	—	—	—

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ウ 市民が実感できる緑をつくる



3か年の評価・検証

○この制度により、民有地で良好な緑地が保全され、緑化や緑地保全に貢献している市民等の意欲向上につながりました。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 保全契約を締結しました

3か年で、個人宅7件、企業1件、集合住宅8件について保全契約を締結し、約9.7haの緑地が10年間保全されることになりました。



【写真】保全契約の事例（集合住宅）
(戸塚区品濃町)



【写真】保全契約の事例（集合住宅）
(金沢区並木三丁目)

<区別の実績>

区名	町名	件数
神奈川	鶴屋町	1
中	諏訪町	1
南	中里三丁目	1
保土ヶ谷	川島町(2件)	2
旭	左近山(2件)	2
金沢	並木三丁目	1
緑	三保町	1
都筑	荏田南二丁目	1
戸塚	上倉田町 品濃町(3件) 前田町	5
瀬谷	相沢一丁目	1



制度利用者の声

- 生活空間の緑が、市の基準以上の緑化をしていると認定されうれしく思います。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 ウ 市民が実感できる緑をつくる

21 名木古木の保存

- 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。
- 指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		名木古木の保存	
		新規指定	維持管理の助成
平成26年度実績	平成26年度実績	19本	51本
	平成27年度実績	17本	47本
	平成28年度実績	9本	43本
	3か年累積 [a]	45本	141本
5か年目標 [b]		推進	推進
3か年計画値 [c]		推進	推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	平成26年度決算額	19百万円	16百万円
	平成27年度決算額	14百万円	11百万円
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	11百万円	9百万円
	3か年累積見込額 [d]	44百万円	36百万円
5か年計画額 [e]		109百万円	100百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	40%	○	36% △



3か年の評価・検証

- 3か年で新たに45本の名木古木を指定したほか、維持管理助成は、平成25年度までのみどりアップ計画を上回る、3か年で141本に対し助成を行うなど、順調な進捗となりました。
- また、10年を目安に行う定期調査では、樹木の専門家である樹木医により名木古木の生育状況を確認するとともに、所有者に対し維持管理に対する適切な助言を行うなど、都市の美観風致の維持に寄与しました。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

名木古木保存事業

樹齢が概ね100年を超える樹木や、故事・来歴のある樹木を名木古木として指定・保存することで、都市の美観風致の維持に寄与しました。

また、名木古木に指定した樹木の診断、治療、せん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減しました。

<区別の実績>

区名	新規指定	維持管理に 対する助成
鶴見	一	4本
神奈川	1本	7本
西	一	7本
中	9本	27本
南	3本	6本
港南	一	6本
保土ヶ谷	6本	3本
旭	一	11本
磯子	6本	6本
金沢	5本	6本
港北	6本	7本
縁	一	10本
青葉	一	11本
都筑	5本	7本
戸塚	1本	6本
栄	2本	2本
泉	一	7本
瀬谷	1本	8本
【計】	45本	141本

<維持管理の助成の内訳>

診断	治療	管理
13本	11本	117本

※名木古木の指定本数（平成29年3月末時点）
：990本



【写真】名木古木指定樹木の事例
(クスノキ/南区六ツ川)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 ウ 市民が実感できる緑をつくる

22 人生記念樹の配布

- 人生の節目の記念に、希望した市民に対し苗木を無料配布します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		苗木の配布
	平成26年度実績	7,752本
	平成27年度実績	7,865本
	平成28年度実績	7,476本
	3か年累積 [a]	23,093本
	5か年目標 [b]	40,000本
	3か年計画値 [c]	24,000本

目標・計画値に対する進捗率

		苗木の配布
	5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	58% ○
	3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	96%

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成26年度決算額	11 百万円	3 百万円
	平成27年度決算額	12 百万円	4 百万円
	平成28年度決算見込額 ※平成29年4月30日時点の数値	12 百万円	4 百万円
	3か年累積見込額 [d]	35 百万円	10 百万円
	5か年計画額 [e]	50 百万円	22 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
	5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	70% ○	45% ○



3か年の評価・検証

- 目標本数に近い実績となっており、概ね順調に進捗しました。

3か年の総合評価

B

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 ウ 市民が実感できる緑をつくる



3か年の実績詳細

■ 人生の節目を記念して、苗木をプレゼントしました

民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目の記念に、希望した苗木を無料で配布しました。

<申し込み対象となる記念>

出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人（20歳の誕生日）、就職、結婚、金婚（50年）、銀婚（25年）、賀寿（還暦や古希など7種類）、新市民（市外からの転入）、住宅の新築・購入、住宅の増改築

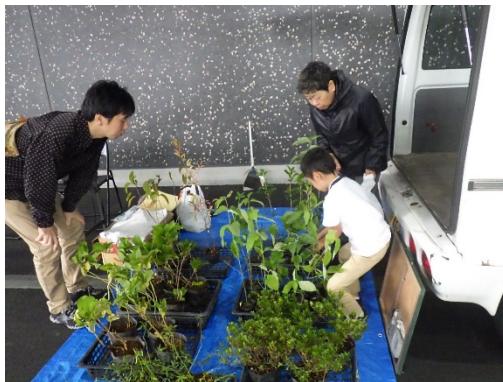
<配布実績>

区名	配布本数	区名	配布本数	区名	配布本数
鶴見	1,193 本	保土ヶ谷	1,119 本	青葉	3,086 本
神奈川	998 本	旭	2,022 本	都筑	1,476 本
西	588 本	磯子	1,151 本	戸塚	2,114 本
中	514 本	金沢	1,594 本	栄	816 本
南	586 本	港北	1,567 本	泉	954 本
港南	1,079 本	緑	1,326 本	瀬谷	910 本
【合計】23,093 本					



利用者の声

・住宅の新築の記念に申し込みました。新しい我が家とともに育てていきます。



【写真】苗木配布の様子（金沢区役所）



【写真】苗木配布の様子（港北区役所）

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

- 各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進します。
特に、視認性が高く多くの市民が実感できる緑の創出を重点的に実施します。
- 充実を図った公共施設の緑について、良好に維持管理します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	緑の創出	創出した緑の維持管理
平成26年度実績	16か所	95件
	22か所	69件
	18か所	70件
	56か所	234件
5か年目標 [b]	58か所	推進
3か年計画値 [c]	35か所	推進

目標・計画値に対する進捗率

	緑の創出	創出した緑の維持管理
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	96%	◎
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	160%	

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成26年度決算額	213 百万円	0 百万円
	413 百万円	213 百万円
	286 百万円	52 百万円
	912 百万円	265 百万円
5か年計画額 [e]	1370 百万円	150 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率(見込) [d/e×100]	67%	◎

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ウ 市民が実感できる緑をつくる



3か年の評価・検証

- 南区、金沢区、港南区の新総合庁舎整備に伴う緑化整備をはじめ、各区の公共施設や公有地で緑化に取り組み、計画を上回る進捗となりました。
- 各公共施設では、花を楽しめる植栽、屋上や壁面の緑化、生物多様性の向上につながる植栽など、多様な緑化により、市民が実感できる緑の創出が進みました。
- 今後も、多くの市民が利用する公共施設から率先して緑化を進めるとともに、創出した緑を良好に維持管理することが必要です。

3か年の総合評価

A



3か年の実績詳細

■ 市が所管する公共施設・公有地を緑化しました

市庁舎（くすのき広場）や鶴見区、西区、保土ヶ谷区、南区、金沢区、港南区や栄区の各庁舎など、多くの市民が利用する施設等を新たに緑化しました。

また、「横浜みどりアップ計画」により創出した緑を良好に維持するため、各施設において適切な維持管理が行われました。

<区別実績（創出）>

区名	施設名	施設数
鶴見	鶴見区庁舎	1
神奈川	三ツ沢せせらぎ緑道ほか3か所	4
中	市庁舎（くすのき広場）ほか2か所	3
西	西区庁舎ほか12か所	13
南	南区庁舎ほか1か所	2
港南	港南区庁舎ほか5か所	6
保土ヶ谷	保土ヶ谷区庁舎ほか3か所	4
旭	旭区民文化センターほか6か所	7
磯子	市道新杉田117号線ほか2か所	3
金沢	金沢区庁舎	1
港北	港北スポーツセンターほか3か所	4
緑	森の台1号雨水調整池	1
青葉	青葉区庁舎ほか2か所	3
都筑	横浜国際プール	1
栄	栄区庁舎	1
泉	泉土木事務所	1
瀬谷	相沢川水辺広場	1
合計		56



【写真】創出・事例（港南区庁舎）



【写真】維持管理・事例
(青葉区庁舎／青葉区)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 ウ 市民が実感できる緑をつくる

24 公有地化によるシンボル的な緑の創出

- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目に触れる場所で、緑豊かな公園を整備します。



3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		シンボル的な緑の創出
	平成 26 年度実績	1 か所
	平成 27 年度実績	1 か所 (継続 1 か所)
	平成 28 年度実績	4 か所 (継続 1 か所、新規 3 か所)
	3か年累積 [a]	4 か所
	5か年目標 [b]	5 か所
	3か年計画値 [c]	3 か所

目標・計画値に対する進捗率

		シンボル的な緑の創出
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	80%	◎
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	133%	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	301 百万円	21 百万円
	平成 27 年度決算額	1 百万円	1 百万円
	平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	445 百万円	38 百万円
	3か年累積見込額 [d]	747 百万円	60 百万円
	5か年計画額 [e]	1,650 百万円	324 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	45%	○	19% △



3か年の評価・検証

- 5か所すべての候補地を選定し、うち4か所の用地取得が進捗しましたが、緑化および公開には至っていません。
- 今後は残る1か所の用地取得に向けて調整を進めるとともに、設計・整備など事業の目標を達成できるような公園づくりが必要です。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ 土地利用転換の機会を捉えた用地取得

事業予定地	面積	28年度実績
西区伊勢町三丁目 (県職員宿舎跡地)	約4,000m ²	設計中 (26年度から継続)
鶴見区下野谷町 (鶴見工業高校跡地)	約2,800m ²	設計完了 (28年度新規)
中区山手町 (国家公務員宿舎跡地)	約2,600m ²	一部用地取得 (28年度新規)
神奈川区六角橋四丁目 (国家公務員宿舎跡地)	約1,600m ²	用地取得完了 (28年度新規)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ウ 市民が実感できる緑をつくる

25 いきいきとした街路樹づくり

- 市民が目にする機会が多く、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成するため、せん定などの維持管理を通常の維持管理に上乗せして実施します。
- 都心臨海部の街路樹や区の代表的な街路樹については、低木の刈込や除草などの管理をより充実させます。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

街路樹の計画的なせん定	
平成 26 年度実績	18 区で推進 (160 路線)
平成 27 年度実績	18 区で推進 (206 路線)
平成 28 年度実績	18 区で推進 (325 路線)
3か年累積 [a]	18 区で推進
5か年目標 [b]	18 区で推進
3か年計画値 [c]	18 区で推進

<事業費の執行状況>

事業費		うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	262 百万円	262 百万円
平成 27 年度決算額	277 百万円	277 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	277 百万円	277 百万円
3か年累積見込額 [d]	816 百万円	816 百万円
5か年計画額 [e]	1,445 百万円	1,445 百万円

計画額に対する進捗率

事業費		うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	56%	○



3か年の評価・検証

- 市民の目にする機会が多い駅前広場や公共施設周辺、幹線道路などの街路樹が良好に育成されました。
- 26年度から、都心臨海部や区の代表的な街路樹について低木の除草等の管理をより充実して行ったことにより、緑豊かな街並み景観の形成に寄与しました。
- この事業をきっかけとして、より良い街路樹のあり方について検討が必要です。

3か年の総合評価

B



3か年の実績詳細

■ せん定などの維持管理を実施しました。

街路樹を良好に育成するため、管理樹形図を作成し、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法をあらかじめ定め、計画的なせん定を実施しました。また、都心臨海部や各区の代表的な街路樹の植樹枠については、低木刈込、草刈や除草などの頻度をあげて行うことにより、より充実した管理を行いました。



【写真】高木せん定（左：中山北山田線（都筑区））（右：神奈川宿歴史の道（神奈川区））

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 ウ 市民が実感できる緑をつくる

26 地域緑のまちづくり

- 地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

地域緑化推進事業	
平成 26 年度実績	22 地区（うち新規：6 地区）
平成 27 年度実績	26 地区（うち新規：4 地区）
平成 28 年度実績	29 地区（うち新規：9 地区）
3か年累積 [a]	35 地区
5か年目標 [b]	46 地区
3か年計画値 [c]	34 地区

目標・計画値に対する進捗率

地域緑化推進事業		
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	76%	◎
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	103%	

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	196 百万円	196 百万円
	平成 27 年度決算額	151 百万円	151 百万円
	平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	165 百万円	165 百万円
	3か年累積見込額 [d]	512 百万円	512 百万円
	5か年計画額 [e]	931 百万円	931 百万円

		事業費	うち横浜みどり税
	5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	55%	○



3か年の評価・検証

- 事業広報の充実とともに、専門家による緑化計画づくりの支援等により、多くの提案応募があり、地域にふさわしい緑をつくる計画が採択され、目標を上回る地区で緑化の取組が進みました。
- 地域の緑化計画に基づく緑化活動により、住宅地から商業・工業地域まで、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動も盛んになりました。
- 市の助成が終了した後も、地域で自立的な緑化活動が継続できるように、団体同士の交流会などの支援の取組を今後も工夫する必要があります。

3か年の総合評価

A



3か年の実績詳細

■ 新たに19地区と協定を締結しました

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から、緑化計画の提案を公募し、緑化やまちづくりの専門家による提案計画づくりの支援を行い、3か年で19地区の団体と新たに協定を締結しました。

各地区では、緑化整備や緑の活動が行われ、地域の緑化推進に大きな成果を上げています。

<3か年の取組地区一覧>

<継続地区>

地区名	区名	協定締結年度
山手地区	中	H23
馬車道地区	中	H23
白根台第九地区	旭	H23
上白根国際地区	旭	H23
名瀬たかの台地区	戸塚	H23
上飯田地区	泉	H23
生麦・新子安地区	鶴見 神奈川	H24
みなとみらい21 中央地区	西	H24
錦が丘地区	港北	H24
末広地区	鶴見	H24
平楽地区	南	H24
みなとみらい21 新港地区	中	H25
牛久保西地区	都筑	H25
北寺尾地区	鶴見	H25
みなとみらい21 横浜駅東口・中央地区	西	H26
湘南桂台地区	栄	H26
合計	16 地区	

<新規地区>

地区名	区名	協定締結年度
洋光台一丁目地区	磯子	H26
六ツ川・永田地区	南	H26
柿の木台地区	青葉	H26
竹山三丁目地区	緑	H26
金沢文庫 すずらん通り地区	金沢	H26
中原三丁目地区	磯子	H26
東本郷地区	緑	H27
霧の里地区	緑	H27
初黄・日ノ出町地区	中	H27
上星川地区	保土ヶ谷	H27
菅田地区	神奈川	H28
鴨居・白山一丁目地区	緑	H28
大倉山つつみ通り地区	港北	H28
関内地区	中	H28
東山田四丁目地区	都筑	H28
石川町地区	中	H28
三保町宮根地区	緑	H28
日本大通り地区	中	H28
江田駅周辺地区	青葉	H28
合計	19 地区	

<平成28年度取組状況>

各地区では、地域の緑化計画に基づく緑化が進み、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動が盛んになりました。

また、整備された緑地を活用して、どの木にどんな鳥がくるかなど、生き物調査を通じた環境活動も盛んになっています。商業・住居系の地区では、少ないスペースを活用して、多くの人が目にする店先や沿道にプランターなどを用いて緑化することで、地区の緑化が進みました。

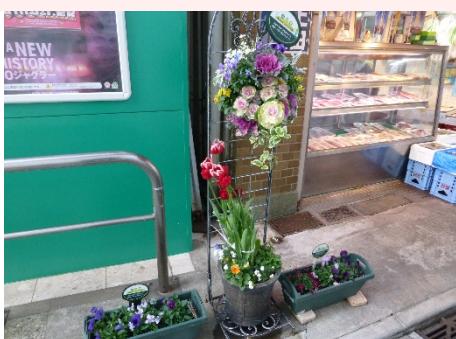
28年度は、全地区の推進団体と地域緑のまちづくりに興味のある方を対象として、活動報告＆交流会を実施しました。活動報告では、協定締結期間を終了する11地区を代表して、5地区から、地域緑のまちづくりの取組を発表していただきました。



【写真】商業施設（公開空地）の緑化
(みなとみらい21 横浜駅東口・中央地区/西区)



【写真】沿道の緑化
(江田駅周辺地区/青葉区)



【写真】商店前の沿道の緑化
(上星川地区/保土ヶ谷区)



【写真】花壇の植替えの様子
(湘南桂台地区/栄区)



【写真】育樹のつどいの様子（植樹地の維持管理）
(末広地区/鶴見区)



【写真】活動報告＆交流会の様子
(情報交換や地区同士の交流の場)



・地域に花や緑が増えたことで、多くの方から「とてもきれいなまちになった」などの意見をいただいている。声を掛け合うきっかけにもなり、明るいコミュニティの輪がつくられていると感じています。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 ウ 市民が実感できる緑をつくる

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、多様な緑を創出します。
- 芝生等を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	緑の創出	芝生等の維持管理
平成 26 年度実績	50 か所	推進
平成 27 年度実績	32 か所	推進
平成 28 年度実績	36 か所	推進
3か年累積 [a]	118 か所	推進
5か年目標 [b]	100 か所	推進
3か年計画値 [c]	60 か所	推進

目標・計画値に対する進捗率

	緑の創出	芝生等の維持管理
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	118%	◎
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	196%	—

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	70 百万円	10 百万円
平成 27 年度決算額	64 百万円	9 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	57 百万円	11 百万円
3か年累積見込額 [d]	191 百万円	30 百万円
5か年計画額 [e]	463 百万円	75 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	41%	○



3か年の評価・検証

- 園庭や校庭の芝生化のみならず、ビオトープや樹木による緑化等に対しても支援するよう事業内容を拡充した結果、3か年で5か年目標値を達成したほか、多様な緑を創出することにつながりました。
- 子どもたちが日常的に利用している芝生やビオトープを、常に良好な状態で維持していくためには、施設管理者へのフォローアップが重要であり、今後も継続した技術支援が必要です。

3か年の総合評価

A



3か年の実績詳細

■ 緑の創出

校庭・園庭の芝生化に加え、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

区名	市立小学校・保育園	民間保育所・幼稚園	区名	市立小学校・保育園	民間保育所・幼稚園
鶴見	7か所	4か所	金沢	2か所	1か所
神奈川	7か所	3か所	港北	—	5か所
西	2か所	—	緑	4か所	3か所
中	3か所	3か所	青葉	7か所	3か所
南	12か所	1か所	都筑	5か所	3か所
港南	4か所	1か所	戸塚	4か所	1か所
保土ヶ谷	7か所	2か所	栄	7か所	1か所
旭	2か所	2か所	泉	3か所	—
磯子	4か所	1か所	瀬谷	4か所	—
				【計】	84か所
					34か所

<実施内容ごとの内訳>

校庭・園庭芝生化	ビオトープ	樹木による植栽	花壇など
43か所	30か所	38か所	24か所

※複数の緑化を実施した施設があるので、か所数の合計は一致しません。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ウ 市民が実感できる緑をつくる

■ 芝生等の維持管理

みどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するのと合わせて、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施しました。また、ビオトープの整備や維持管理について、専門家による訪問指導を実施しました。

- ・費用の一部を支援した箇所数：のべ 300 か所以上
- ・芝生の維持管理について 研修会：8回 専門家による訪問指導：99回
- ・ビオトープの専門家による訪問指導：27回



【写真】〔整備〕樹木による緑化
(搜真学院／神奈川区)



【写真】〔整備〕園庭の芝生化
(菅田保育園/神奈川区)



【写真】〔管理〕芝生維持管理の訪問指導
(パレット保育園大豆戸／港北区)



【写真】ビオトープ整備計画作りの訪問指導
(長津田第二小学校/緑区)



- ・芝生の専門家に直接話を聞いたり質問できてよかったです。
- ・ビオトープに導入する動植物や、授業での活用方法がわかりました。

28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

- みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした都心臨海部で、緑花による魅力・賑わいづくりを進めます。
- いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街となるように、緑や花を良好に育てます。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	都心臨海部の緑化	緑化の維持管理
平成 26 年度実績	6 か所	3 か所
平成 27 年度実績	4 か所	4 か所
平成 28 年度実績	12 か所	8 か所
3か年累積 [a]	22 か所	15 か所
5か年目標 [b]	推進	推進
3か年計画値 [c]	推進	推進

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	173 百万円	146 百万円
平成 27 年度決算額	519 百万円	143 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	513 百万円	483 百万円
3か年累積見込額 [d]	1,205 百万円	772 百万円
5か年計画額 [e]	1,620 百万円	1,470 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	74%	◎	53%	○

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー ウ 市民が実感できる緑をつくる



3か年の評価・検証

- 都市公園や港湾緑地、街路樹などにおいて、緑のネットワーク形成や季節の花による空間演出が着実に進み、街の回遊性や魅力が高まりました。
- 山下公園、港の見える丘公園や新港中央広場などでは、バラ園や美しい花壇が整備され、いつ訪れても緑や花が楽しめる質の高い管理が進んでおり、市民や観光客の目を楽しませています。
- 都心臨海部は、多くの市民や観光客が訪れる横浜の顔であり、引き続き質の高い維持管理を進めながら、緑や花によりエリア全体の魅力を高めていくことが重要です。

3か年の総合評価

A



3か年の実績詳細

■ 都心臨海部で緑花による賑わいづくりと維持管理を進めました

3か年でみなどみらい21地区から山下地区を中心としたのべ22か所で、緑や花による整備を進めました。また、山下公園や港の見える丘公園などのべ15か所で、バラ園や花壇等の維持管理を進めました。

実施か所	区名	都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
アメリカ山公園	中区	実施	—
山下公園	中区	実施	実施
港の見える丘公園（西洋館含む）	中区	実施	実施
横浜公園	中区	実施	実施
元町公園（西洋館含む）	中区	実施	実施
山手イタリア山庭園（西洋館含む）	中区	実施	—
グランモール公園	西区	—	実施
日本大通り	中区	実施	実施
山下公園通り	中区	—	実施
桜木町駅前西口広場	中区	実施	—
東横線跡地（桜木町駅前）	中区	実施	—
新港中央広場	中区	実施	実施
象の鼻パーク	中区	実施	—
赤レンガパーク	中区	実施	—
カップヌードルミュージアムパーク	中区	実施	—
汽車道	中区	実施	—
日本丸メモリアルパーク	西区	実施	—



【写真】東横線跡地（桜木町駅前）の緑花整備（中区）



【写真】山下公園「未来のバラ園」の維持管理（中区）



【写真】港の見える丘公園（山手 111 番館）の緑花整備（中区）



【写真】港の見える丘公園「香りの庭」の維持管理（中区）

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 ー エ 効果的な広報の展開

エ 効果的な広報の展開

29

市民の理解を広げる広報の展開

- 市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）」を推進するため、様々な媒体を活用しながら、計画や取組実績の広報・PR を進めます。計画を所管する環境創造局と「横浜みどり税」を所管する財政局が連携し、財源（税）と使途（事業）の両面から市民に周知します。
- 「みどりアップ月間」を設定し、集中的な広報を実施します。
- これまでに実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施します。



3か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

		計画の周知や実績報告
3か年累積 [a]	平成 26 年度実績	推進
	平成 27 年度実績	推進
	平成 28 年度実績	推進
	3か年累積 [a]	推進
5か年目標 [b]		推進
3か年計画値 [c]		推進

<事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
3か年累積見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	平成 26 年度決算額	16 百万円	0 百万円
	平成 27 年度決算額	17 百万円	0 百万円
	平成 28 年度決算見込額	16 百万円	0 百万円
	3か年累積見込額 [d]	49 百万円	0 百万円
5か年計画額 [e]		80 百万円	0 百万円

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	61%	◎	—



3か年の評価・検証

- 広報よこはまへの記事掲載、実績概要リーフレットの自治会・町内会への回覧など、広報効果の高い取組を毎年度実施し、取組及び事業実績の周知を着実に進めました。
- 財政局及び各区役所と連携し、市連会・区連会での実績説明、区民まつりでのブース出展を行い、横浜みどり税及びみどりアップ計画の周知を進めました。
- マスコットキャラクターを制作し、イベントで活用したほか、広報紙や交通広告でもキャラクターのイラストを生かした親しみやすいデザインづくりを進めました。またプロモーションビデオ、アニメーションを制作し、視覚的に横浜の緑の魅力やみどりアップ計画の取組を感じて頂けるよう、映像を用いたPRを実施しました。
- 『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の結果、26~28年度の3か年で計画を知っている割合は40%強、税を知っている割合は45%前後とほぼ横ばいでした。今後は、引き続き効果の高い「広報よこはま等の広報紙」・「自治会・町内会の回覧」等での情報提供を行うとともにキャラクターや映像を用いるなど手法・媒体を工夫し、若年層向けにも積極的に広報していきます。

3か年の総合評価

B



平成28年度の実績

■ イベントなどによる広報

<イベント出展によるPR活動>

- ・よこはま花と緑のスプリングフェア2016（平成28年4月15日～4月17日）
 - ・横浜F・マリノス「トリコロールランド」（平成28年6月11日）
 - ・環境行動フェスタ2016（平成28年6月25日）
 - ・環境科学研究所施設公開（平成28年8月7日）
 - ・子どもアドベンチャー2016（平成28年8月17日～8月18日）
 - ・みどりアップ月間2016期間中の各種イベント（平成28年10月～11月に多数開催）
 - ・野毛山動物園 第12回 動物たちのSOS展（平成29年3月5日）
 - ・金沢動物園春まつり（平成29年3月18日）
- など



【写真】よこはま花と緑のスプリングフェア2016



【写真】環境行動フェスタ2016



【写真】子どもアドベンチャー2016

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 工 効果的な広報の展開

<展示によるPR活動>

- 市庁舎市民広間での展示
- 図書館での企画展示
- 市内全区役所にPRパネルの掲出

■ 区役所、他局と連携した横浜みどり税の広報

- 市連会・区連会での実績説明（環境創造局、各区税務課）
- イベントへの共同出展（環境創造局、財政局税務課）
- 横浜みどり税 PRチラシの配布（財政局税務課）
- 個人市民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載（財政局税務課）
- 法人市民税申告書送付時にチラシ同封（財政局税務課）
- 各区区民祭りでのブース出展（各区税務課）



■ 各種媒体を活用した広報

<広報誌等への掲載>

- 広報よこはま
(市版特集ページ：9月号)
(区版：泉区版6月号、戸塚区版9月号・3月号、神奈川区版11月号、鶴見区版12月号、磯子区版3月号、緑区版4~3月号(連載コラム))
- 季刊誌「みどり」(平成28年夏号、秋号)
- かんきょう横浜
(平成28年7月号、9月号、平成29年3月号)
- よこはま農委だより(平成28年11月号)
- 横浜音祭り2016公式プログラム(平成28年9月発行)

【図】広報よこはま
(戸塚区版:平成28年9月号)



【図】平成27年度の実績概要リーフレット

<リーフレット・チラシ・報告書>

- 平成27年度の実績概要リーフレット(140,000部作成)
- 平成27年度事業報告書



【写真】横断幕掲出の様子

<メディアを活用した広報>

- 横断幕の掲出
市庁舎、動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出
- 市営バス、公用車等へのPR用マグネットシートの貼付掲出(約4,000枚配布)
(平成24年11月～)
- 横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行
(月2回、1日と15日に発行)
- ツイッターを活用した広報

<事業実施場所でのPR>

- 事業実施場所での現地表示



【写真】市民が実感できる緑をつくる
取組での現地表示

■ マスコットキャラクターを活用した広報

市民の皆様に、より横浜みどりアップに親しんでいただくため、平成 27 年度に作成したマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」について、各イベントで活用し、より幅広い層に横浜みどりアップ計画を PR しました。また、リーフレットやみどりアップ月間・交通広告のポスター等にキャラクターのイラストを使用し、より市民の目に留まる工夫をしました。



横浜みどりアップ葉っぱー



【写真】環境行動フェスタ



【写真】サッカーイベントでのPR



【写真】キャラクターを活用した交通広告（市営地下鉄横浜駅ホームドア）

■ 映像を活用したPR

<プロモーションビデオの活用>

- ・プロモーションビデオの放映
視覚的にみどりアップ計画の取組に親しんでいただくため、イベント等でプロモーションビデオを放映しました。
- ・CM用プロモーション動画の制作
新たに 15 秒、30 秒の CM 用プロモーション動画を作成し、区役所、デジタルサイネージやグリーンラインのグリーンビジョンで放映しました。
- ・QRコードを活用した取組
リーフレットや広報紙に QR コードを記載し、Youtube でプロモーションビデオをご覧いただけるよう工夫しました。



【図】プロモーションビデオ

<ハンド・メイドアニメーション・グランプリを通じたPR>

- ・横浜賞の募集
若手アニメーション作家の育成・支援を目的としたショートアニメーションのコンテスト、「ハンドメイド・アニメーション・グランプリ (HAG)」に横浜賞環境創造部門を設け、「横浜みどりアップ」をテーマに作品案を募集しました。

- ・アニメーションの活用
受賞者によって制作されたアニメーションは、首都圏 26 館のイオンシネマで放映された他、桜木町駅の観光案内所等のデジタルサイネージも活用しました。また、Youtube でも公開しています。
- ・アニメーションデザインを用いた新たな広報



【図】横浜みどりアップのアニメーション

- ・アニメーションデザインを活用し、PR 用のクリアファイル、イベントのチラシを作成しました。今後も複数の媒体でデザインを活用し、アニメーションとの相乗効果を意識した PR を実施します。

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 工 効果的な広報の展開

■みどりアップ月間

横浜みどりアップ計画と横浜みどり税に対する市民・法人へのPRを推進するとともに、緑の保全・創造に対する市民協働の輪を拡げながら、活動団体、土地所有者等を含めた市民共通理解の促進を図ることを目的として、みどりアップ月間を設置しています。

<概要>

【期 間】 每年 10月～11月

【主な内容】

- ・集中的な広報によるPRの強化
鉄道・バスなどの交通広告、苗木配布、クラフト教室、ポスター掲示、市民広間での企画展示、各種パンフレット・チラシの発行など
- ・みどりアップ月間のコアイベントの実施
農と緑のふれあい祭り
- ・イベントによるPR
よこはま森の楽校、みなとみらい農家朝市収穫祭等



【図】みどりアップ月間ポスター

<主なイベント実績>

日付	イベント名	内容	開催場所
10月 10日（月）	自然観察の森開園30周年記念トークショー	横浜自然観察の森にゆかりのある柳生博氏ら3人が森を訪れる楽しさについて語る。	横浜市開港記念会館講堂
10月 23日（日）	みどりアップ健康ウォーキング「かながわ区 秋の自然散策」	植物などの自然観察をしながら、市内の豊かな自然を楽しむウォーキング。	岸根公園駅（スタート）～神奈川スポーツセンター（ゴール）
10月 23日（日）	みなとみらい農家朝市収穫祭	毎月第4日曜に開催の、みなとみらい農家朝市の拡大版。横浜野菜のカレースープを提供。	高島中央公園
11月 3日（木）	馬車道まつり 木のマイスプーンづくり教室	間伐材でマイスプーンづくり。	馬車道商店街
11月 3日（木）	農と緑のふれあい祭り	野菜の収穫体験や農畜産物の販売、自然素材を利用した工作教室などを実施。	環境活動支援センター、横浜市児童遊園地、こども植物園
11月 6日（日）	季節の森を歩こう	季節の生きもののつながりを楽しむガイドツアー	横浜自然観察の森
11月 13日（日）	みんなでバードウォッチング	森の野鳥を観察し、親します。	横浜自然観察の森
11月 20日（日）	よこはま森の楽校 ～楽しいこと森たくさん！～	大学生が主体となって企画し、森の恵みを生かしたクラフトづくりやワークショップを開催。	クイーンズサークル
10月 1日（土）～ 11月 30日（水）	ウェルカムセンター5館回遊スタンプラリー	市内5か所のウェルカムセンターで、10～11月のみどりアップ月間に合わせてスタンプラリーを開催	・寺家ふるさと村四季の家 ・新治里山公園 にいはる里山交流センター ・環境活動支援センター ・舞岡ふるさと村 虹の家 ・横浜自然観察の森 自然観察センター



【写真】農と緑のふれあい祭り



【写真】よこはま森の楽校



【写真】みどりアップ健康ウォーキング

■ 交通広告を活用した広報

特に若年層を中心により幅広い層に取組をPRするため、みどりアップ月間に合わせ9月～11月にかけて集中的に交通広告を活用した広報を実施しました。

<掲出実績>

市営地下鉄

- ・ブルーラインはまりん号貸切車内ポスター（平成28年10月11日～10月24日）
- ・ブルーライン横浜駅・戸塚駅ホームドア（平成28年10月28日～11月10日）
- ・ブルーラインLED広告（平成28年10月1日～11月30日）
- ・グリーンライン グリーンビジョン映像放映（平成28年10月2日～11月26日）

市営バス

- ・パートラッピングバス10台（平成28年9月1日～11月30日）
- ・バス車内ポスター(額面広告)（平成28年9月30日～12月1日）

相模鉄道

- ・中吊りポスター（平成28年10月4日～10月25日）
- ・駅貼りポスター（平成28年10月5日～10月25日）

東急東横線

- ・窓上ポスター（平成28年10月19日～11月15日）

みなとみらい線

- ・駅貼りポスター（平成28年10月17日～11月20日）

シーサイドライン

- ・駅貼りポスター（平成28年10月24日～11月20日）



【写真】パートラッピングバス



【写真】はまりん号貸切車内ポスター



【写真】ホームドア広告（横浜駅）

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 一 エ 効果的な広報の展開

■『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の実施

実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施しました。

(1) 調査の概要

目的： 「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」を市民の皆様に知っていただきた
めの広報の方法や、市民の皆様の緑の取組への関心を検証し、今後の取組及びその広
報を検討するために実施。

調査の対象： 市民 5,000 人（住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民）

実施期間：発送日：平成 28 年 12 月 1 日（木）

回答期限：平成 28 年 12 月 22 日（木）

回収数等： 1,474 票（回収率 29.5%）

設問： 「横浜みどりアップ計画を知っているか」「横浜みどり税を知っているか」
「何で知ったか」「市の情報を得る手段」など 10 問

(2) 主な調査結果（平成 26～28 年度の 3 年間）

①「横浜みどりアップ計画」、「横浜みどり税」を知っているか

計画を知っている割合は 40% 強、税を知っている割合は 45% 前後と 3 年間でほぼ横ばい

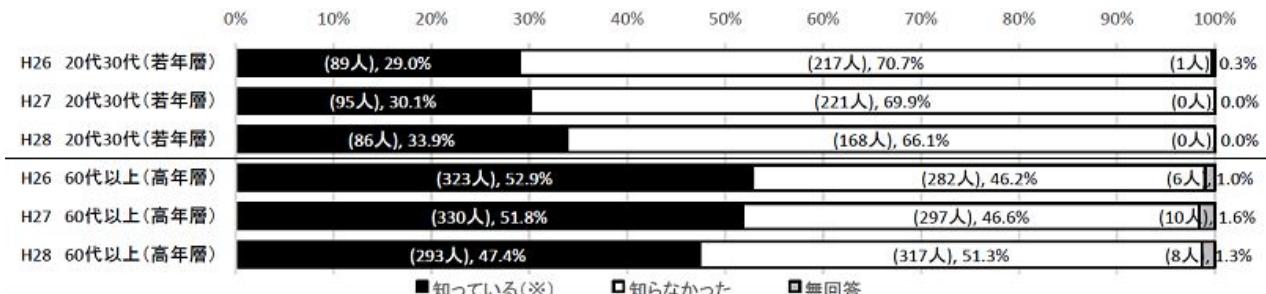


②「何で知ったか」

約半数が「広報よこはま等の広報紙」で知ったと回答。また、40% 弱は「市からの税金
の通知等」で知ったと回答。

③年代別の傾向

知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いている。



(3) 今後の対応

調査結果を踏まえ、引き続き、効果の高い「広報よこはま等の広報紙」・「市からの税金の通知」等での情報提供を進めるとともに、マスコットキャラクターやアニメーションを活用した新たな広報にも取り組みます。また、各媒体間の連携を深め、複数の媒体を使うことによる相乗効果を意識した広報を推進します。

本調査については、29 年度以降も毎年度実施します。